



和歌山県日高町勢要覧2024

CONNECTED
COMMUNITY
ひだか

コネクテッドコミュニティひだか

CONNECTED COMMUNITY
ひだか



うみ・やま・くらし
つながる快適空間

【 和歌山県日高町勢要覧2024 】

CONNECTED COMMUNITY
コネクテッドコミュニティひだか
ひだか

—— 町制施行70周年記念 ——

和歌山県日高町勢要覧2024





笑顔で健康に暮らせるまち 海と緑に包まれた 快適空間・ひだか

紀伊半島西部海岸沿いの、ほぼ中間地点に位置する日高町。

紀伊水道に面した美しい海岸線を持つ「うみ」と紀伊山地の緑濃い「やま」に囲まれた、自然豊かで温暖な気候が大きな特徴となっています。

そんな恵まれた環境が、地域の人々の「くらし」を支えています。

Contents

ひだかの「うみ」 03

クエ/温泉館「海の里」 みちしおの湯/シーサイドレジャー

ひだかの「やま」 05

熊野古道/徳本上人/西山(アサギマダラの谷)/黒竹

ひだかの「くらし」 07

産業/教育文化/生活環境/健康福祉/公共施設/
年中行事/行政・議会/町民憲章

町長・議長メッセージ 14

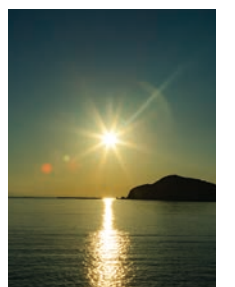
ひだかの「いま」と「これから」 15

ひだか、6つの「いま」/ひだかの「これから」のために

日高町の歩み 23

統計資料 39

イラストマップ 49



ひだかの「うみ」

その恵みを存分にいただき、楽しむ。
ひだかを象徴する真っ青な海。

クエ

豊かなうみを代表する幻の巨大魚
ひだかのシンボリック存在

スズキ目スズキ科ハタ亜科ハタ属のクエ。関東以南の太平洋沿岸から東シナ海沿岸に分布し、大きい成魚で体長1.5m、重量60kgにもなります。日高町近郊では沖合の岩場に生息し、秋から冬にかけてが美味とされています。

クエは、江戸時代から続く白鬚神社の秋祭り「クエ祭」※に奉納される魚として、日高町では古くから慣れ親しまれてきました。しかし、かつては地元以外では知られておらず、「幻の巨大魚」と呼ばれて

ていました。そんなクエが脚光を浴び始めたのは、昭和40年代のこと。町内の旅館や民宿で冬場の郷土料理として提供するうちに、町の名物として有名になりました。現在では、日高町随一の観光資源として、なくてはならない存在になっています。



「クエ食ったら、他の魚はクエん」。地元漁師の言葉どおり、鍋・刺身・揚げ物、どんな調理法でもおいしい



※令和6年（2024年）度現在は神事のみ行われており、クエ押し、樹取りは行われていません。

「山田錦」と「雄町」を使用して、丹念に醸した純米吟醸酒 九絵。
“最良の酒米”と定評のある2種の旨味を引き出した穏やかな吟醸香と、やわらかにふくらむ米の旨味、キレのある飲み口が特徴。日高町の名物でもある、その名を冠したクエ料理との相性は抜群。クエだけでなく、魚料理にピッタリな味わりに仕上がっています。



九絵酒

HIDAKA Character



クーコ クエ太郎

好奇心旺盛な男の子 クエ太郎

「クエ太郎」の青い方と言われるのが最近の悩み。クエ太郎の青色はきっと海の色。

- 性別：おとこ
- 誕生日：10月第1日曜日(クエ祭)
- 性格：天然・祭り好き
- 出身地：日高町近海のクエの里
- チャームポイント：あひる口・モヒカン
- 好きな場所：深い磯

クエ太郎の元カノ クーコ

一人でいると何のキャラクターか分からないと言われる。どこから見てもクエだよ。

- 性別：おんな
- 誕生日：9月5日(9=ク、5=コ)
- 性格：天然・悠々自適
- 出身地：阿尾地区逗留穴付近
- チャームポイント：あひる口・まつげ
- 好きな場所：関西国際クーコ



温泉館「海の里」
みちしおの湯
広大な紀伊水道の風景と漁港、
夕景が目の前に広がる天然温泉



平成12年（2000年）に、美しいリアス式海岸で知られる煙樹海岸県立自然公園内の方杭^{かたかい}に開館した「温泉館『海の里』みちしおの湯」。露天風呂やうたせ湯、ジャグジーや家族風呂、ゆったりとしたスペースのコミュニティルームや食堂、広い駐車場などが完備された人気の温泉施設です。館の目の前には海が広がり、雄大な紀伊水道や漁港の風景を楽しむことができます。令和5年（2023年）には入館者数150万人を達成しました。

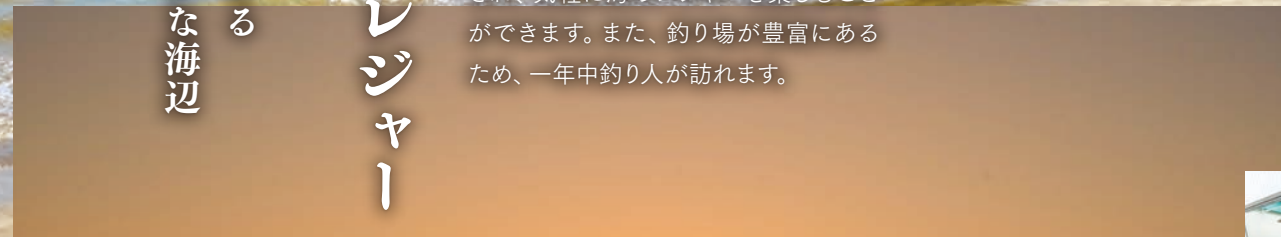


なたまめあいす

地元特産のなた豆茶を使ったアイスクリーム。「みちしおの湯」に併設した食堂で購入できます。ソフトクリームもあります。

シーサイドレジャー
一年を通して
レジャーが楽しめる
リアス式の穏やかな海辺

リアス式の穏やかな海辺に面した日高町は、一年を通してシーサイドレジャーが盛ん。絶景の夕景ポイントとして知られ、抜群の透明度と規模を誇る「産湯海水浴場^{うぶゆ}」は、海開き中の夏は海水浴、他の季節はサーフィンスポットに。「みちしおの湯」にはダイビングセンターが併設され、気軽に海のレジャーを楽しむことができます。また、釣り場が豊富にあるため、一年中釣り人が訪れます。



遠浅の海岸線が続き県下でも有数の規模を誇る産湯海水浴場は、「和歌山の朝日・夕日100選」にも選出





山深い山林を縫うように続く
かつての「祈りの道」

熊野古道

末法思想が広がった平安時代、当時の皇族や貴族たちの間で、浄土に生まれ変わりを願う熊野本宮大社などに参る「熊野詣」がさかんになりました。その“祈りの道”が、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている熊野古道です。

日高町内を南北に走る参詣道は、国の指定文化財に指定されており、現存する最長の石畳道が続き、旧跡が点在するなど、京の都と熊野を結ぶかつての巡礼の道の面影を色濃く残しています。



側に不動明王が祀られ、修行の場としても知られる「水滝不動瀑」。「紀の国の名水 50 選」のひとつ

HIDAKA Connected Community Vol.02 | Mountain

ひだかの「やま」

祈りの道に、貴重ないきものや名産…。
ここは豊かな緑が育む自然と文化の地。

西山のアサギマダラの谷では、定期的に観察会を実施。広く飛来地の周知を図っている



数百もの蝶が舞い飛ぶ地
西山（アサギマダラの谷）



数千kmもの距離を旅する蝶であるアサギマダラ。春には日本列島を北上し、秋には南下するという大規模な季節移動を繰り返します。

その絶好の観察地点となっているのが、日高町の西山。毎年9月下旬から10月中旬頃にかけて飛来^{しょうよう}のピークを迎えます。令和4年（2022年）度からは道逦^{しょうよう}の森の一部を「アサギマダラの谷」として整備。フジバカマを植生するなどして、飛来を促しています。こうした活動を通じて、地域活性化に取り組んでいます。



徳本上人

全国を行脚した漂泊の念仏行者、
日高ゆかりの徳本上人

徳本上人は江戸時代に全国各地を行脚した「木食僧」の1人で、生涯を布教と修行に捧げた念仏行者として知られます。上人の足跡を物語る石碑（名号碑）は全国各地で千基以上におよびます。

日高町には、上人の生誕地に文政7年（1824年）に開基された「誕生院」があり、のちの嘉永4年（1851年）に紀州藩主・徳川治宝公^{はるとみ}の命により本堂を建立。上人ゆかりの貴重な品々が数多く納められています。



「誕生院」の裏手には、上人幼少期の行場跡や上人の舍利・遺髪を納めた名号塔がある



黒竹は、青竹と比較して幹が細く外皮が黒いのが特徴です。昔から、釣り竿や家具の装飾に使われるなど、私たちの生活に密着した日用品として親しまれてきました。

熊野古道の史跡が数多く現存する原谷地区は、全国一の黒竹の生産地。花立て、置物・ボールペンなどが人気を呼んでおり、制作体験も行われています。



黒竹ボールペン



黒竹民芸品（干支）

黒竹

全国一の黒竹の生産地を誇り、
製品は日高町の名産として人気





ひだかのくらしを支える、豊かな「うみ」と「やま」の恵み

産業

農業と漁業、観光の “三位一体”で産業振興

温暖な気候と海、肥沃な土地に恵まれた日高町の基幹産業は、農業と漁業です。農業では生産基盤の整備や中核農家の育成のほか、さまざまな支援策を実施。漁業においても、漁港や漁業施設の整備だけでなく、漁場の造成や稚魚・稚貝の放流事業を含め水産資源拡大に取り組んでいます。

一方で、クエや黒竹などの特産品、熊野古道をはじめとする史跡、釣りや海水浴などのレジャーといった観光資源の振興、PRにも力を注いでいます。

和歌山県の市町村で人口増加率が高く、転入者が増えている日高町。これまで、豊かな自然の保全をはじめ、温暖化対策などの環境保全活動、生活排水施設の適切な維持管理に取り組むなど、さまざまな施策で生活環境を改善し、安

心・安全の町づくりに努めてきました。特に防災面では、令和5年度に地域防災計画の見直しを行い、南海トラフ巨大地震や台風・大雨による大規模災害に対応した取り組みを行っています。



生活環境 生活基盤の安定に努め 県下有数の人口増加を継続



出初式を行う消防団。その活動を通して、安心・安全の町づくりに貢献

HIDAKA Connected Community_Vol.03 | *Life*

ひだかの「くらし」

充実した環境のもと地域の活力を維持。
さらなる発展を可能にするひだか。

教育文化 将来につながる人づくりと スポーツ・文化環境を整備



学校教育を通して「生きる力」を育み、ひだかの「人づくり」を強化



学校教育では、優れた自然や農水産業などを通じた体験的学習を取り入れ、確かな学力や豊かな心、健やかな身体の調和を重視した「生きる力」を育む教育活動を推進しています。

また、生涯にわたる町民の学習活動を

支援。住民相互の交流・連帯を促すスポーツ活動や芸術文化活動の推進にも取り組んでいます。さらに、さまざまな差別の解決に向け、学校教育や生涯学習の場などで教育・啓発を進めています。



サービスの充実を図り、子どもから高齢者まで幅広い層を支援



健康福祉

子育て環境の充実をはじめ さまざまな支援で 町民をサポート

日高町では、「子ども・子育て支援事業計画」を策定。子ども・子育てを重視したまちづくりを重点施策として位置付けています。

同時に、関連団体と連携した地域の健康福祉にも注力。高齢者支援では、地域包括支援センターを中心とした介護予防の推進や介護保険サービスの提供に努めるなどしてきました。障がい者支援においても、御坊・日高障害者総合相談センター等と連携し就労や社会参加に向けた支援などを行っています。

主な公共施設

生活拠点から観光施設までさまざまな人々が集う

日高町には、日高町役場や消防署などの生活基盤を支える施設から、町民や観光客を集客するレジャー施設まで、さまざまな公共施設があります。

TOPIC

比井崎住民公園

旧比井小学校グラウンド跡に地域の交流の場が誕生

令和6年（2024年）度、旧比井小学校グラウンド跡が「比井崎住民公園」として生まれ変わりました。約3,800㎡の敷地は、大型複合遊具などを置いた子どもが自由に遊べるエリアと、日除けのパーゴラが設置された「くつろぎスペース」で構成されています。

旧校舎内では、御坊市の法人による「わさびの水耕栽培」が行われており、「カフェ」も併設。地域活性化への相乗効果が期待されています。



施設名	所在地	詳細	電話番号（0738）
役場	高家626番地	総務課	63-2051（代） 63-3803
		住民生活課	63-3800
		子育て福祉健康課	63-3801
		いきいき長寿課	63-3807
		税務課	63-3802
		上下水道課	63-3805
		産業建設課	63-3804
		農業委員会（産業建設課内）	63-3804
		企画まちづくり課	63-3806
		出納室	63-3808
		議会事務局	63-3810
		教育委員会（教育課）	63-2038（代） 63-3812
		農村環境改善センター	高家630番地
		中央公民館	高家629番地
保健福祉総合センター（ふれあいセンター）	小中1308番地	社会福祉協議会	63-3650 63-2751
		在宅介護支援センター	63-1010

施設名	所在地	詳細	電話番号（0738）
温泉館「海の里」みちしおの湯	方杭100番地		64-2626
内原保育所	原谷517番地		63-2154
志賀保育所	志賀1781番地		64-2260
内原小学校	萩原964番地の1		63-2015
志賀小学校	志賀1800番地		64-2350
日高中学校	志賀71番地の1		63-2014
文化会館	志賀564番地の1		63-2241
武道館	志賀1781番地		64-2280
若もの広場	池田451番地		—
町民プール	志賀915番地内1号		63-3430
斎場	比井1439番地の1		64-2822
萩原浄水場	萩原1704番地		63-2291
高家下水処理場	高家914番地		—
阿尾下水処理場	阿尾72番地の1		—
比井下水処理場	比井53番地		—
小浦下水処理場	小浦86番地の3		—
小池下水処理場	小池68番4		—
小浦地区公民館	小浦174番地		—

施設名	所在地	詳細	電話番号（0738）
高家集会所	高家1031番地の4	（教育集会所）	—
萩原集会所	萩原768番地の1	（教育集会所）	—
比井崎集会所	比井729番地	（教育集会所）	—
久志集会所	志賀2722番地の2		64-2300
中志賀構造改善センター	志賀1973番地の2		—
小池集会所	小池450番地		63-2497
産湯集会所	産湯163番地		64-2288
高家集会所	高家469番地の1	（旧高家公民館）	—
田杭集会所	阿尾1630番地		—
小中住民公園	小中869番地の1		63-2981
萩原住民公園	萩原387番地の2		63-3460
荊木住民公園	荊木1366番地		—
谷口住民公園	志賀902番地の1		—
高家住民公園	高家913番地の2		—
比井崎住民公園	比井930番地の3		—
高家警察官駐在所	高家643番地の2		—
比井警察官駐在所	比井673番地の21		—
日高広域消防本部	萩原930番地の1		63-1119（代）
消防団本部	高家659番地の1		—
消防団第2分団車庫	志賀1350番地の15		—
消防団第3分団車庫	比井続673番地の54		—

公共施設一覧

消防団本部



消防団の活動拠点

昭和51年
（1976年）開設

農村環境改善センター



各種スポーツや大会行事、会議、料理実習などに幅広く利用

昭和56年
（1981年）開設

【利用案内】●施設：バスケットボール2面、バレーボール2面、ロッカー※空調あり
●利用時間：9:00～21:00
●問合せ先：産業建設課
（TEL：0738-63-3804/FAX：0738-63-3822）

中央公民館



「二十歳を祝う式典」「ふれあい祭」などの開催施設

昭和47年
（1972年）開設

【利用案内】●利用時間：8:30～22:00（公民館）・8:30～17:00（公民館図書室：月曜日～土曜日開室、日曜日・祝日・年末年始・特別調整期間閉室）※申込みにより施設利用可能
●問合せ先：中央公民館
（TEL：0738-63-3811/FAX：0738-63-3843）

日高中学校



県下初の円形校舎として設立し、昭和57年（1982年）に現校舎

昭和33年
（1958年）開設

武道館



柔道や剣道の教室を開催している武道スポーツ施設

昭和55年
（1980年）開設

【利用案内】●施設：柔道場2面（280畳）、剣道場2面、シャワー※空調あり
●利用時間：9:00～21:30
●問合せ先：教育委員会 教育課
（TEL：0738-63-3812/FAX：0738-63-3353）

温泉館「海の里」みちしおの湯



日帰り温泉施設。心身ともにリフレッシュ

平成12年
（2000年）開設

【利用案内】●施設：浴場、露天風呂、家族風呂、リラクゼーションルーム、コミュニティルーム、研修室、食堂
●利用時間：11:00～21:00（入浴受付は20:00まで）
●休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、12月28日～1月1日
（TEL：0738-64-2626/FAX：0738-64-2628）

PUBLIC FACILITIES LIST

保健福祉総合センター（ふれあいセンター）



保健・福祉センターの複合施設で、健康づくりと在宅福祉の拠点

平成8年
（1996年）開設

文化会館



各種教室や巡回職業相談を開催

昭和57年
（1982年）開設

【利用案内】●施設：1階 会議室、2階 和室（大広間）※申込みにより施設利用可能
●利用時間：9:00～22:00
●問合せ先：住民生活課
（TEL：0738-63-3800/FAX：0738-63-3846）



料金
●大人（中学生以上）600円
※町民60歳以上半額
●小人（3歳～小学生以下）300円
※町民小学生以下無料
●障害者手帳保持者および介添人510円

ANNUAL EVENTS

主な年中行事

季節ごとのイベントがさかんな自然・文化に彩られたひだか

日高町の「くらし」には、豊かな自然環境や古くから培われた歴史文化が色濃く反映されています。一年を通して、いろいろな行事やイベントが行われています。

1月 JANUARY 二十歳を祝う式典



日高町在住者や日高中学校卒業者が集い、二十歳を祝います。

時期 1月4日
場所 中央公民館

3月 MARCH 桜開花



約1,000本が咲き誇る西山千本桜、比井崎海岸並木道の約250本の桜が、ひだかに春を告げます。

時期 3月下旬ごろ
場所 西山千本桜(比井崎海岸並木道の柏から小浦間県道沿い)ほか

4月 APRIL 田植え(早場米)はじめ



志賀地内の久志地区などで、早場米のキヌヒカリから田植えが始まります。

時期 4月上旬ごろ
場所 各所

6月 JUNE ハモ料理の旬



ひだかの夏の旬といえばハモ料理。ハモ鍋フルコースなどが味わえます。

時期 5月～9月ごろ※料理提供時期
場所 民宿、旅館、飲食店各所

7月 JULY 海開き



絶景と水質、規模を誇る産湯海水浴場の海開きで、ひだかは夏本番を迎えます。

時期 7月上旬～8月下旬
場所 産湯海水浴場

8月 AUGUST 星空観測会



中央公民館と町教育研究会理科部会共催で、夜空の天体観測を実施しています。

時期 8月
場所 年度ごとに変更

8月 AUGUST 納涼夏祭り



会場にはゲームの模擬店や屋台が出店し、ミニ花火の打ち上げで盛り上げられます。

時期 8月下旬ごろ
場所 産湯海水浴場駐車場

9月 SEPTEMBER 敬老会



長年老人福祉に貢献された方々に、町長より感謝状が贈呈され、式典後に歌謡ショー等を開催します。

時期 9月下旬ごろ
場所 農村環境改善センター

アサギマダラの見ごろ



長距離を移動することから「旅する蝶」として知られ、西山山頂付近は絶好の観察地点です。

時期 9月下旬～10月下旬ごろ
場所 西山アサギマダラの谷

10月 OCTOBER クエ料理の旬



ニッポン全国鍋グランプリでグランプリに輝いた日高町の天然クエ鍋です。

時期 10月～翌3月ごろ
場所 民宿、旅館、飲食店各所

秋祭り



五穀豊穡や豊漁を祈念して、様々な神事が行われます。

時期 10月
場所 各所

うぶひだか～なみうちマルシェ～



マルシェや海の家を活用したカフェなど、産湯海岸を存分に満喫できるイベントです。

時期 10月中旬
場所 産湯海水浴場駐車場

11月 NOVEMBER 文化講演会



文化向上のため、講師を招き講演会が行われます。

時期 11月
場所 中央公民館

ふれあい祭り



住民の交流を目的に開催しているテント市。屋外ステージでのイベントなどが人気です。

時期 11月中旬ごろ
場所 農村環境改善センター、中央公民館等

12月 DECEMBER 町内駅伝競走大会



町民の親睦を深めるとともに、健康の増進を図り、明るく豊かな人づくり地域づくりのため、4部門にわけて行われます。

時期 12月上旬
場所 町内

行政・議会

日高町では地域主権に基づき、
行政・議会を通じて明日につながるまちづくりを目指しています。

行政 CITY ADMINISTRATION



さまざまな行政サービスを通じて 地域の安全・安心に貢献を

日高町では、活力ある自立したまちをつくるために、町民の皆さんが参画し、皆さんと行政の協働によるまちづくりや支え合い助け合う地域づくりを目指しています。生活基盤の整備や産業の振興をはじめ、保険、医療、福祉、環境、教育、文化などにおいて、さまざまな行政サービスを提供。町民の皆さんが、安全で快適に生活できる取り組みを行っています。

取り組みや施策の情報は、日高町の

ホームページおよび「第6次日高町長期総合計画」や広報誌「広報ひだか」にて公開。町民の皆さんや地域とともにある行政の推進に努めています。



議会 COUNCIL

町民すべての「くらし」のために 開かれた議会活動を目指して



日高町議会は、町民の皆さんから直接選ばれた11人の議員によって構成され、任期は4年です。予算の決定や条例の制定、決算の認定、重要な契約・財産の取得や処分、そのほかの町政について調査

などを実施。町行政に、町民の皆さんの意思を十分反映させるための重要な意思決定機関となっています。

年に4回定例会が行われ、特定事件に限り審議するために招集される臨時会も

開かれており、議会は誰でも傍聴することができます。また、審議の過程や活動内容などを伝える「議会だより」を日高町ホームページに公開し、開かれた議会活動を展開しています。

日高町民憲章

人が町をつくり町が人をつくる

- 恵まれた自然を大切に、快適で住みよい町をつくります。
- 歴史と伝統を愛し、心豊かな町をつくります。
- スポーツを楽しみ、健康で明るい町をつくります。
- 知恵を出し、汗を流し、活力ある町をつくります。
- 故郷に誇りをもち、ふれあいを、大切にする町をつくります。

GREETINGS

ご挨拶

町制施行70周年を迎えて



日高町長
松本 秀司

昭和29年（1954年）10月に日高町が誕生し、今年で発足から70年を迎えます。こうして、70周年を迎えることができましたことは、誠に感慨深く、町制発展のためにご尽力くださいました町民の皆さま

方及び関係各位の皆さま方に深く感謝申し上げます。

旧内原村・旧志賀村・旧比井崎村の3村が合併した当時の人口は9,142人でございました。その後、社会・経済情勢の変化に伴い、徐々に人口が減少し、平成2年には6,862人と危機的な状況となりましたが、近年では、少子高齢化が進む中にあっても、子育て支援の充実、住環境の整備などを積極的に推進してきた結果、平成27年には7,900人（住民基本台帳）を超え、人口が減少する自治体が多い中、微増ではございます

が、増加傾向で推移しております。

本町は、温暖な気候・肥沃な土地に恵まれ、古くから良質の米や野菜を生産してまいりましたが、近年は、全国的に第一次産業が衰退していく中、様々な角度から模索し、保育所や小学校の統合、東南海・南海地震への備えなど、時代の変化とともに、住みよいまちづくりに取り組んでいるところでございます。

今回、町制70周年を記念して発刊いたしますこの記念誌を通して、これまでの故郷の歴史を振り返り、また、日高町の明るい未来を思い描いていただければ幸いです。

今後も、自然との共生のもと、住みやすいまちとしての質をさらに高め、新たな活力と人の流れを生み出し、人と人との繋がりを強めるまちづくりを進め、「笑顔で健康に暮らせるまち 海と緑に包まれた快適空間・ひだか」を目指してまいりますので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健勝、ご多幸を祈念しご挨拶いたします。



日高町議会 議長
稲垣 崇

日高町が誕生して以来、長い歴史のなかで70年の節目の年を町民の皆様方と迎えることが

出来ましたことをたいへん嬉しく思います。人口が減少している市町村が多くあるなか日高町は、人口増加を誇る町となり、これまで発展を遂げてきました。

古くは農業、漁業の盛んな町でありましたが、近年は第1次産業を生業とされる方々が減少し、本町が抱える問題も多面化している状況であります。

我々、議会は地方公共団体の意思決定機関として

町が実施する施策、事業に対して監視機能を強化し、町民を代表する立場で費用対効果や検証をしています。

また、町民の多様化するニーズに応えるべく子育て、健康福祉、産業、観光、教育など様々な分野で町に提案し「住みやすいまち」を創りあげていくため、町民の声を行政に届けていく所存であります。

今後も、これまで諸先輩方が築きあげられました歴史、文化を継承し、町民の皆様が安心して、日々暮らせるよう一層の研鑽を重ね町の発展のため努めて参ります。

結びに町制施行70周年を祝し本町のますますの発展と町民の皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、議会を代表してのご挨拶いたします。

令和6年（2024年）10月

「これから」と「いま」のひだかの

現状と課題から 日高町の 将来を考える

日高町では、令和3年（2021年）度から令和12年（2030年）度までのまちづくりの指針「第6次日高町長期総合計画」を策定。現状分析と未来に向けての目標を掲げています。ここでは、それを踏まえて、日高町の「いま」と「これから」の姿について探ります。

日高町の特性



1 人口増加の傾向が続く 住みやすいまち

日高町は、御坊市に隣接する立地条件のよさに加え、生活環境・生活基盤の整備、子育て環境や保健・福祉環境が充実しています。さらには、住みやすいまちとして転入者が増えて、人口増加の傾向が続いています。



4 子育て・教育環境が充実した 子育てしやすいまち

日高町では、子どもに対するさまざまな助成や関連事業の推進、関連施設の開設など、町全体で子育て世帯を応援する取り組みを積極的に行い、子育て環境の充実に努めています。また、中学校・小学校の大規模改修といった、次代を担う子どもの教育環境の充実に力を入れています。

ひだか、6つの「いま」*Now*



2 美しく豊かな自然が いきづくまち

変化に富んだ海岸線や紀伊山地の緑、平野部の田園空間と、美しく豊かな自然に恵まれた日高町。特に、リアス式海岸の海岸部一帯の景観は絶景です。これに連なる西山は、四国や淡路島、高野連山を見渡せる優れた眺望と豊かな自然環境を誇り、煙樹海岸県立自然公園に指定されています。



5 魅力ある観光・交流資源 を持つまち

熊野古道のメインルートである西熊野街道をはじめ、魅力ある観光・交流資源に恵まれた日高町。産湯海水浴場や数多くの釣りスポットだけでなく、眺望豊かな温泉館「海の里」みちしおの湯をはじめ、天然地魚料理が食べられる旅館や民宿が点在し、一年を通して祭りやイベントも盛んです。



3 クエをはじめとする 独自の特産品を生み出すまち

日高町の基幹産業は、農業と水産業。現在、魚介類、水稻、野菜、花き、果樹、さらには黒竹など、さまざまな特産品を生み出しています。特にクエは、天然のクエを使った鍋料理が「ニッポン全国鍋グランプリ2018」で日本一に輝くなど、日高町のシンボルとなっています。



6 あたたかく、郷土愛の 強い人が住むまち

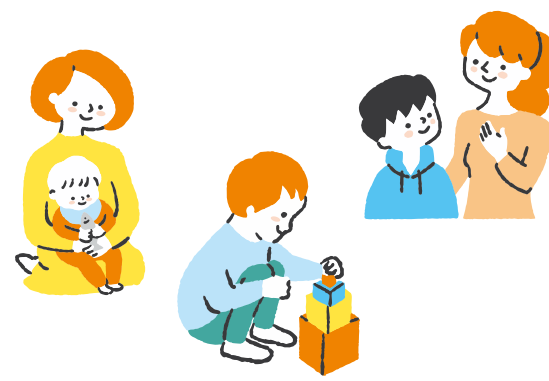
日高町の人々には、美しく豊かな自然に育まれた、あたたかさや優しさ、郷土愛の強さがあります。こうした優れた特性が地域活動にも生かされ、区の活動から産業振興、環境保全活動、福祉ボランティア活動、健康づくり活動に至るまで、さまざまな分野で活発な活動が自主的に行われています。

発展に向けての課題



1 誰もが住みたくなる 質の高い生活環境づくり

昨今の意識の変化により、快適で安全・安心な住環境の整備を望む町民が増えてきています。日高町の特性を生かしながら、南海トラフ巨大地震への備えをはじめとする危機管理体制の強化、自然と共生する循環型のまちづくりを進め、誰もが住みたくなる質の高い生活環境づくりを進めていくことが課題となっています。



2 子育て支援の充実と 健康長寿の環境づくり

子育て世代を中心に子育て環境の充実を求める声が高まっています。妊娠・出産・子育てを通じた切れ目のない支援や、保健・医療・福祉連携体制の一層の充実を図り、子どもを安心して生み育てられる環境づくり、すべての町民が健康で長生きできる環境づくりを進めていくことが求められています。



3 特色ある 教育・文化行政の推進

町民が生きがいのある充実した人生を送るためには、誰もが生涯にわたって学び続けられる環境づくりや、気軽に文化・スポーツに親しめる環境づくりが必須。これまで整備してきた教育環境等を生かしながら、地域に根ざした特色ある学校教育を推進するとともに、町民主体の学習・文化・スポーツ活動の活発化を進める必要があります。



4 農水産業を柱とした産業の 振興と観光・交流機能の強化

地方の産業・経済が低迷するなか、本町においても、各産業を取り巻く状況は非常に厳しく、産業分野全般に関する町民の満足度が低いのが現状です。特産物や魅力ある観光・交流資源等を生かしながら、農水産業を維持し新たな展開、観光・交流機能を強化。地域に密着した支援施策を推進し、活力ある産業の育成をめざします。



5 将来を見据えた便利で 安全な生活基盤づくり

本町が将来にわたって持続的に発展していくためには、生活環境の整備から子育て・保健・医療・福祉環境の充実、教育・文化行政の推進、産業の育成に至るまでを支える便利で安全な生活基盤の充実が不可欠。将来を見据えて、住宅・住環境の充実や道路網の整備、公共交通の確保、情報化の一層の推進などが求められています。

6 町民力の結集と 行財政運営の効率化

限られた財源を有効に活用し、将来にわたり自立・持続可能な日高町をつくるためには、これまで以上に町民力を結集する必要があります。そのためには、町民の参画・協働体制の強化やコミュニティの活性化を推進。協働のまちづくり、住民自治の地域づくりを進め、行財政運営のさらなる効率化を図ることが大事です。



ひだかの「これから」のために

日高町の将来像

笑顔で健康に暮らせるまち 海と緑に包まれた快適空間・ひだか

日高町は、令和12年（2030年）度を目指す姿を内外に示し、これからのまちづくりの象徴となるフレーズを選定。すべての分野において、本町の特性を最大限に生かしながら、『住みやすいまち』としての質をさらに高め、『新たな活力と人の流れ』を生み出し、『人と人とのつながり』を強めるまちづくりを進め、子どもから高齢者まで、笑顔でいきいきと暮らし、充実した人生を送っていることを実感できる。そうした、紀中にキラリと光る暮らしの拠点をつくるという想いを込め、将来像を定めました。

政策目標ごとの6つの方針

日高町が策定した「第6次日高町長期総合計画」では、将来像である“笑顔で健康に暮らせるまち 海と緑に包まれた快適空間・ひだか”を目指し、政策目標ごとに6つの方針を示しています。

POLICY 1

生活環境分野

「安全・安心・快適に暮らせる日高」

施策項目

- 1 消防・防災
- 2 交通安全・防犯・消費者対策
- 3 環境保全
- 4 ごみ処理等環境衛生
- 5 上・下水道
- 6 公園・緑地

すべての町民が安全に安心して住み続けられる、あらゆる危機に強いまちづくりを進めるため、南海トラフ巨大地震への備えをはじめとする防災・減災体制、消防・救急体制の一層の強化を図るとともに、高齢化の進行等を踏まえた交通安全・防犯・消費者対策を推進します。

また、町民がずっと住み続けたい、町外の人が移り住みたい、美しく快適な生活環境づくりを進めるため、総合的な環境保全対策や、循環型社会の形成に向けたごみ処理等環境衛生対策を進めるほか、上・下水道施設の適正管理、公園・緑地の整備充実を図ります。



POLICY 2

保健・医療・福祉分野

「子育てしやすく健康で長生きできる日高」

施策項目

- 1 子育て支援
- 2 保健・医療
- 3 高齢者支援
- 4 障がい者支援
- 5 地域福祉
- 6 国民健康保険・国民年金等

子どもを生み育てやすい環境づくりを一層進めるため、町全体で結婚・妊娠・出産・子育てを応援する体制の強化を図るほか、すべての町民が健康で長生きできるよう、町民の自主的な健康づくりの促進を基本に、予防を中心としたきめ細かな保健サービスの提供、保健所や町内外の医療機関との連携強化に努めます。

また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護・福祉サービスの充実や社会参加の促進に努めるとともに、誰もが「我が事」として支え合う地域福祉活動の促進に努めます。



まちづくり3つの基本原則

日高町では、これからのまちづくりにおいて、すべての分野にわたって基本とする3つの原則を次のとおり定めています。

1

『住みやすいまち』としての質の向上

町民一人ひとりの命や暮らしを大切に、住みやすいまちとしてのさらなる質の向上を進め、町民がずっと住み続けたい、町外の人に移り住みたい、なるまちづくりを進めます。



2

『新たな活力と人の流れ』の創出

農水産業を中心とした産業の振興と観光・交流機能の強化を図り、新たな活力を生み出すとともに、多くの人が訪れるまちづくりを進めます。



3

『人と人とのつながり』の強化

町民と町民とのつながり、町民と行政とのつながり、町と周辺自治体とのつながりを強め、多くの人が心を通わせ、支え合い、協力し合うまちづくりを進めます。



POLICY 3

教育・文化分野

「人と文化がかがやく日高」

施策項目

- ① 学校教育
- ② 生涯学習
- ③ スポーツ
- ④ 文化芸術
- ⑤ 青少年健全育成
- ⑥ 国内・国際交流

子どもたちが、これからの社会を生き抜く力を身につけ、たくましく成長することができるよう、コミュニティスクールの充実をはじめ、学校教育環境の充実を図るとともに、町民が生涯にわたって学び続け、その成果を地域社会づくりに生かせる学習環境づくりを進めます。

また、町民一人ひとりが生きがいと感動に満ちた暮らしを送れるよう、町民主体のスポーツ活動・文化活動の促進や貴重な文化財の保存・活用を図るほか、近年の環境変化を踏まえた青少年の健全育成、デンマークとの交流の維持・充実に努めます。



POLICY 4

産業分野

「豊かで活気に満ちた日高」

施策項目

- ① 農林業
- ② 水産業
- ③ 商工業
- ④ 観光・交流
- ⑤ 雇用対策

基幹産業である農業の維持と新たな展開に向け、農業生産基盤の一層の充実や担い手の育成・確保をはじめ、多面的な農業振興施策を推進するとともに、森林の適正管理・整備の促進に努めます。水産業については、担い手の育成・確保に努めるとともに、水産資源の維持・拡大に向け、漁場の造成や稚魚・稚貝の放流事業等を進めます。

また、商工業経営の安定化を促していくほか、観光客や関係人口の増加に向け、「クエのまちひだか」シティプロモーションの推進や各種資源の充実・活用等により、観光・交流機能の強化を図ります。



POLICY 5

生活基盤分野

「未来への基盤が整った日高」

施策項目

- ① 土地利用
- ② 住宅・定住・移住
- ③ 道路・公共交通
- ④ 情報化・技術革新

将来にわたって限られた資源である土地を有効に活用するため、適正な土地利用を誘導するとともに、安全・安心な住宅・住環境の確保に向けた取り組みや、相談・情報提供体制の充実や空き家の活用などの定住・移住を直接的にサポートする取り組みを進めます。

また、町民の利便性・安全性の向上、町全体の活性化に向け、国・県道の整備促進や町道の整備・維持管理、路線バスの維持・確保、新たな公共交通の導入検討等に努めるほか、未来を見据えた社会基盤として、さらなる情報化や技術革新の利活用を進めます。



POLICY 6

共生・協働・行財政分野

「力をあわせてつくる日高」

施策項目

- ① 人権尊重
- ② 男女共同参画
- ③ コミュニティ
- ④ 町民参画・協働
- ⑤ 行財政運営

すべての人がお互いの人権を尊重し、ともに生きることができるよう、人権教育・啓発を推進するとともに、男女共同参画社会の形成に向け、意識改革や条件整備を進めます。

また、地域住民自らによる地域づくりに向け、自主的なコミュニティ活動を支援するほか、多様な主体とともにまちづくりを進めるため、町民や町民団体、民間企業等の参画・協働体制の強化を図ります。

さらに、将来にわたって自立・持続可能な行財政体制の確立に向け、さらなる行財政改革や広域連携を推進します。



日高町の歩み

History of HIDAKA

昭和 29 年（1954）

- 10月1日 内原、志賀、比井崎の3村が合併し、日高町として発足
初代町長職務執行者に内原村長、上谷米次郎氏が就任
旧内原村役場を本庁舎とし、志賀支所を旧志賀村役場に、比井崎支所を旧比井崎村役場にそれぞれ設置
日高町消防団発足
民生委員協議会発足
遺族会発足
- 10月30日 初の町長選挙執行、白井勇氏就任
教育委員選挙（当選委員4名、議会選出委員1名）
- 11月1日 日高町身体障害者福祉協議会発足
- 12月4日 初代助役に、一松春氏就任
初代収入役に、竹谷佐吉氏就任
- 12月10日 初代教育長に、本多勉氏就任

昭和 30 年（1955）

- 2月13日 初の町議会議員一般選挙執行（定数22名）
- 3月 内原、志賀、比井崎森林組合が合併し、日高町森林組合として発足
- 3月31日 地盤変動事業で比井簡易水道竣工
- 4月1日 役場庁舎増築、比井崎支所竣工
全町民に結核健康診断を始める
日高町婦人会発足
日高町青年団発足
日高町傷痍軍人会発足
環境衛生推進のため町内全世帯を対象に害虫駆除を実施
- 8月14日 第1回町長杯野球大会開催



- 10月1日 国勢調査実施、人口8,779人、世帯数1,826戸
- 10月 日高町生活改善友の会発足

昭和 31 年（1956）

- 3月31日 原谷小学校校舎改築
- 4月1日 第1回自主財政再建計画策定
乳幼児検診、妊産婦健康相談、母親教室開設
農繁期季節託児所開設
- 6月30日 法改正により、教育委員の公選制が廃止され、首長が議会の承認を得て委員を任命し、教育長は委員の互選となる

昭和 32 年（1957）

- 1月21日 町立日高中学校を志賀地区に建築を決定、用地買収に着手
- 3月31日 小浦海岸防潮堤完成（延長690m）
- 4月1日 池田地区に町立内原保育所を新築、保育を開始
交通安全協会日高町分会発足
- 6月30日 内原地区簡易水道事業竣工
- 9月30日 小杭通学道路新設（延長2,170m 幅員3m）

昭和 33 年（1958）

- 2月26日 町立日高中学校校舎竣工（円型鉄筋コンクリート造4階建 延べ2,353㎡）



- 3月20日 内原、志賀、比井崎の3中学校を統合し、日高中学校を創設
- 4月1日 地方改善施設整備事業に着手（以後、年次計画に基き、事業を実施）
- 10月1日 日高町長選挙執行、井上長次郎氏当選
新町建設計画策定（昭和33年度～42年度）
町役場前に和歌山県日高北家畜保健衛生所開設
- 10月30日 井上長次郎氏、町長に就任

昭和 34 年（1959）

- 2月7日 町議会議員一般選挙執行（定数22名）
第1回自主財政再建完了
志賀および高家、小中簡易水道工事竣工
柏海岸護岸工事竣工（延長200m）
小中岩の谷改良工事竣工
- 4月1日 日高町母子愛育会発足
- 4月16日 国民年金制度ができる
- 8月10日 元志賀中学校跡に和歌山県養鶏場が設置され、業務開始
- 9月1日 志賀、比井崎支所を連絡所に改める
- 9月26日 伊勢湾台風襲来

昭和 35 年（1960）

- 3月 消防自動車購入、第3分団へ配置
- 3月31日 日高中学校屋内運動場竣工（鉄骨造595㎡）
内原小学校統合校舎竣工（鉄筋コンクリート造2階建 延べ1,755㎡）
- 4月1日 校舎新築により、内原小学校の本校と分校が統合



- 第2回自主財政再建計画策定
- 5月2日 比井小学校校舎2教室増築
- 7月31日 谷口簡易水道事業竣工
- 9月 経営指導員を設置
- 9月22日 志賀小学校講堂建築
- 10月1日 国勢調査実施、人口8,177人、世帯数1,805戸
- 10月31日 日高町商工会発足

昭和 36 年（1961）

- 1月 農業経営の近代化を図るため、たばこや促成蔬菜、ビニールハウス栽培を取り入れる
- 3月31日 原谷油河池改良工事竣工
小坂奥山池改良工事竣工
- 5月1日 収入役、竹谷佐吉氏退任
- 5月16日 収入役に崎則男氏就任
- 8月 内原小学校通学道路、里神橋竣工
- 9月1日 内原、志賀、比井崎農業共済組合が合併、同時に農業共済事業を町へ移譲
日高町社会福祉協議会発足
- 9月16日 第2室戸台風襲来、災害救助法発令される



昭和 37 年（1962）

- 3月31日 第2回自主財政再建完了
小浦船河池改良工事竣工
地盤変動対策事業で小池地区内川排水路を改修（日高町と美浜町とで共同実施、美浜町分は昭和38年度完成、総延長1,870m）
- 4月1日 日本脳炎、インフルエンザ予防対策を本格的に開始
比井及び産湯火葬場竣工
- 7月 スポーツ振興法に基づく体育指導委員を設置
- 10月1日 町長、井上長次郎氏、無投票にて再選される（2期目）
- 10月30日 津久野漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長333m）

昭和 38 年（1963）

- 2月10日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
- 3月31日 高家西久保橋、天満橋竣工
阿尾漁港修築事業第二次計画竣工（岸壁、護岸、埋立、船揚場、物揚場、防波堤、胸壁浚渫等を30年度より37年度まで各年度で実施）
比井漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長578m）

- 産湯漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長453m）
田杭漁港防波堤、防潮堤災害復旧工事竣工（延長 防波堤247m、防潮堤443m）
小杭海岸防潮堤災害復旧工事竣工（延長260m）
- 4月1日 日高町老人クラブ連合会発足
老人の健康診査を始める
日高町善意銀行開設
公民館運営審議会委員設置
- 5月3日 原谷小学校運動場整地工事完成
- 7月31日 小浦簡易水道事業竣工
- 9月10日 日高中学校技術家庭科教室建築（鉄骨造347㎡）

昭和 39 年（1964）

- 3月31日 日高町隣保館（文化会館）建築（鉄筋コンクリート造2階建 延べ223㎡）
阿尾簡易水道完成
比井漁港荷揚場完成
比井地区に防火水槽2か所完成
- 3月 待望の国道42号線が開通（舗装完成、昭和40年1月）
- 5月14日 御坊市外7ヶ町村環境衛生施設事務組合発足
- 6月 松くい虫駆除事業始まる
- 10月31日 谷口簡易水道改良事業竣工
- 11月20日 役場庁舎を現地に新築落成（鉄筋コンクリート造2階建 延べ1,311㎡）
- 12月2日 志賀、比井崎連絡所廃止
- 12月10日 新庁舎落成式、町制施行10周年記念式典を新庁舎で行う
機構改革し、総務課、住民課、税務課、産業建設課、出納室を設置
- 12月 高家地区パイロット事業完成、集団早生温州みかんを植栽（面積16ha）

昭和 40 年（1965）

- 1月4日 原谷、内原、志賀、比井崎農業協同組合が合併し、日高町農業協同組合として発足
- 4月1日 へき地保育所として、比井みのり保育所開設
日高町交通安全母の会発足
献血制度開設
- 5月1日 日高郡10ヶ町村および御坊市老人福祉施設事務組合で特別養護老人ホーム改築（鉄筋コンクリート造に改築、定員50名）
- 5月15日 近畿圏整備法都市開発区域指定
- 10月1日 国勢調査実施、人口7,566人、世帯数1,792戸
- 11月 第1回町内駅伝競走大会開催



昭和 41 年（1966）

- 3月15日 阿尾簡易水道改良事業竣工
- 7月1日 日高町土地改良区発足
- 8月 消防自動車購入、第2分団に配置
- 8月11日 冬春きゅうり産地指定
- 10月1日 町長、井上長次郎氏、無投票にて再選される（3期目）

昭和 42 年（1967）

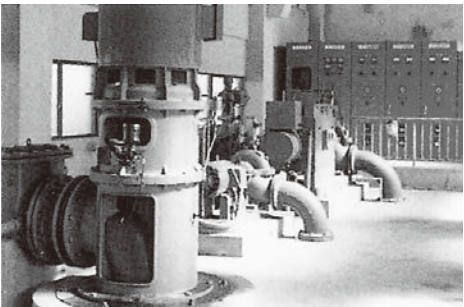
- 1月31日 方杭防潮堤完成（延長 260m）
- 2月10日 町議会議員一般選挙執行（定数 20 名）
- 3月31日 庁舎裏に水防倉庫、水防器材を整備
県道三尾由良線未改修道路完成（柏～方杭間、延長 2,300m）
- 4月1日 農山漁村同和对策事業に着手
- 6月1日 国道 42 号線、紀伊内原駅前に日高地方で最初の信号機設置



- 6月30日 日高中学校テニスコート完成
- 6月 萩原露谷池災害復旧工事竣工
高家五ッ谷池災害復旧工事竣工
- 10月10日 御坊市外7ヶ町村環境衛生施設事務組合で、し尿処理施設完成
- 11月1日 し尿処理業務開始
- 11月 沿岸漁業振興のため、魚礁造成投石事業に着手

昭和 43 年（1968）

- 3月 町内平坦地域の荊木から小池に至る 250ha のかんがい用水の水不足解消のため鉢巻水路 4,282m を完成（日高川より導水）



- 3月31日 下志賀地区構造改善事業完成（農道整備と水稻、果樹、蔬菜等の経営規模拡大）
産湯川の樋門完成
荊木農免道路完成（県道井関御坊線交差点から御坊市上富安間 1,800m 幅員 5m）

- 4月1日 可搬式動力ポンプを消防団各分団へ1台ずつ配置
母子の保健指導のため、母子保健推進員を委嘱
雇用促進事業団、日高総合高等職業訓練校開校（敷地 28,421㎡）
- 4月 農業用動力機具の普及により、昭和 36 年には 446 頭もあった役牛も、この年完全に姿を消す
- 7月 産湯海水浴場開設
海水浴客や釣客の激増により、各沿岸地区で民宿業始まる
- 7月23日 国道 42 号線に横断歩道橋設置、内原小学校児童の交通安全を図る



- 8月 第1回町民親睦バレーボール大会開催
- 11月30日 阿尾小学校校舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ 1,410㎡）

昭和 44 年（1969）

- 2月18日 御坊市外7ヶ町村広域青少年補導センター開設
- 3月31日 荊木地区簡易水道事業竣工
阿尾漁港修築事業第三次計画竣工（防波堤、岸壁、浚渫等を昭和 38 年度から 43 年度まで各年度に実施）
- 4月1日 広域市町村圏指定を受ける
養護老人ホームを鉄筋に改築（日高郡 10 ヶ町村、御坊市老人福祉施設事務組合 定員 150 名）
心配ごと相談所開設（月1回）
老人家庭奉仕員 1 名を委嘱
米の生産調整対策始まる
- 5月 萩原、牛内池災害復旧工事竣工
- 8月4日 内原小学校水泳プール完成（13m × 25m 6 コース）



- 8月6日 冬レタス産地指定

昭和 45 年（1970）

- 2月16日 教育長、本多勉氏退任
- 2月19日 宮本武雄氏、教育長に就任
- 3月 日高町観光協会設立
西山開発協議会設置（日高町、美浜町）
- 3月31日 可搬式消防ポンプ 3 台を購入、各分団へ1台ずつ配置
- 5月20日 農業者年金制度できる
- 6月 小池大谷池災害復旧工事竣工
- 7月23日 社会教育委員委嘱
- 8月27日 日高町誌編さんに着手（委員 25 名委嘱）
- 9月25日 助役、一松春氏退任
- 10月1日 国勢調査実施、人口 7,119 人、世帯数 1,794 戸
- 10月4日 一松春氏、町長に無投票で当選される
- 10月29日 町長、井上長次郎氏退任（昭和 33 年 10 月より 12 年間、町政を担当）
- 10月30日 一松春氏、町長に就任
- 12月 日高町長期総合計画策定

昭和 46 年（1971）

- 2月7日 町議会議員一般選挙執行（定数 20 名）
- 3月31日 県道三尾由良線未改修道路完成（方杭～小浦峠間 延長 1,100m）
- 4月1日 日高町同和对策長期計画策定
町単独で、85 才以上の老人に対し、敬老年金制度を設ける
児童手当制度ができる
機構改革により産業建設課を廃止し、産業課、建設課、水道課、企画室を設置
- 4月 日高町交通安全対策会議設置
- 4月30日 御坊周辺広域市町村圏事務組合設立
- 6月30日 煙樹海岸岸立自然公園区域の変更指定を受ける（昭和 29 年 7 月 6 日指定）
- 7月1日 塵芥焼却の業務始まる
第1回日高地方総合体育大会開催
- 8月 第1回子供野球大会開催
- 10月10日 防火水槽完成（内原駅前地区、比井地区）
- 10月19日 第26回国民体育大会（黒潮国体）の大会旗、炬火リレー日高町通過
田杭～池田間 17.3km を町民各層から 182 名参加、完走



- 12月27日 町、県で 75 才以上の老人に対し、高齢者医療給付制度を設ける

昭和 47 年（1972）

- 2月19日 日高町中央公民館竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ 1,042㎡）
- 3月4日 日高町農業振興地域の指定を受ける
- 3月30日 原谷小学校廃校式典、校史発刊（明治 7 年 7 月 1 日開校）
- 3月31日 町道新平田線改良工事竣工（小坂～産湯間、延長 654m 幅員 5m）
田杭地区簡易水道事業竣工
- 4月1日 町独自の敬老年金の受給資格 85 才以上を 80 才以上に拡大する
内原小学校、原谷小学校が統合し、内原小学校として発足、通学用マイクロバスで児童の送迎開始
原谷へき地保育所（原谷小学校跡）開設
日高町同和委員会設置
山百合短歌会、日高町囲碁同好会発足（日本棋院中紀支部として発展する）
- 5月 第1号公民館結婚式を挙げる
萩原神田池災害復旧工事竣工
- 6月 比井、比井後池災害復旧工事竣工
小浦、方杭、比井、久志地区の地域振興計画に着手
- 8月 第1回町内小学校区ジュニアバレーボール大会開催
- 8月31日 内原小学校校舎 3 教室増築（鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ 312㎡）
- 9月 壮年ソフトボール大会開催
消防ポンプ自動車を購入、本部に配置
第1回県民総参加スポーツ大会開催
- 10月17日 交通安全協会、指導員 13 名を委嘱
- 12月 池田農免道路新設事業に着手（池田地区国道 42 号線取付～上志賀間、総延長 3,010m 幅員 5m）
- 12月2日 同和对策農業基盤整備事業に着手

昭和 48 年（1973）

- 1月1日 70 才以上の老人医療費支給について国で制度化される
- 1月 広域営農団地農道整備事業着手（萩原～印南町間、総延長 13,800m 幅員 8m、日高町分 2,200m）
- 3月26日 日高町文化財保護条例制定
- 3月31日 阿尾漁港修築事業第四次計画竣工（防波堤、護岸嵩上、浚渫、岸壁、埋立等を昭和 44 年度から実施）
上志賀地区急傾斜地帯農道整備事業竣工（昭和 46 年着工、延長 1,260m 幅員 5m）
- 4月1日 文化財保護審議会委員委嘱
ひとり暮らし老人に町独自で「愛のベル」設置する
日高町乳幼児医療費支給制度を設ける
比井地区に町営火葬場設置（祭壇、霊柩車を備える）
指導主事共同設置事務所を日高町中央公民館に置く

- 4月2日 和歌山県消防協会会長表彰旗を本町消防団に授与される
- 4月5日 日高局、比井局の電話がダイヤル式になる
- 4月15日 同和教育地区懇談会始まる
- 5月 小中堂の岡池災害復旧工事竣工
- 8月1日 阿尾漁港修築事業第五次計画に着工（埋立、岸壁、浚渫、防波堤、護岸嵩上、船揚場等、昭和52年度まで各年度にわたり実施）
- 8月31日 比井小学校校舎竣工（鉄筋コンクリート造 2階建 延べ1,504㎡）



- 10月1日 県、町で67才～69才の老人医療費無料化制度を設ける
- 10月17日 阿尾小学校開校100周年記念式典（明治6年10月17日開校）



- 10月24日 老人送迎用マイクロバス購入
- 11月7日 宮本武雄氏、教育長を辞任
- 11月8日 教育長に森澤円一氏就任

昭和49年（1974）

- 1月19日 日高町農業振興整備計画の認可を受ける
- 3月1日 日高町同和对策長期計画策定（後期5か年）
- 4月1日 新生児に出生記念品を贈る制度を設ける
- 交通遺児並びに母子家庭児童激励金を贈る制度を設ける
- 日高町老人憩いの家「海の家」完成（鉄筋コンクリート造 2階建 延べ306㎡）
- 日高町社会同和教育推進会発足
- 西川河川改修着手
- 県道三尾由良線改良着手（比井～小浦間）
- 農村総合整備モデル事業着手
- 4月29日 可搬式消防ポンプ積載車 2台購入、第2分団、第3分団に配置
- 7月1日 機構改革により、同和室を設置
- 7月10日 消防車庫新築（鉄筋造 63㎡、第2分団中志賀へ、第3分団比井へ建築）
- 10月6日 町長、一松春氏、無投票で再選

- 11月2日 比井小学校開校100周年記念式典（明治7年9月16日開校）
- 11月3日 内原小学校開校100周年記念式典（明治7年8月24日開校）
- 11月4日 志賀小学校開校100周年記念式典（明治7年10月23日開校）
- 11月10日 町制施行20周年記念「町民体育大会」を日高中学校で開催



- 12月27日 比井崎簡易水道事業の給水区域を小坂、小浦、津久野、産湯、阿尾、田杭地区に拡張し、変更、認可を受ける

昭和50年（1975）

- 1月1日 和歌山県日高北家畜保健衛生所、印南町へ移転
- 2月2日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
- 3月18日 日高簡易水道事業の給水区域を萩原、小中、高家、荊木、谷口、下志賀、中志賀、池田、原谷、小池、久志、上志賀地区に拡張、変更認可を受ける
- 3月31日 池田上志賀線道路新設完成
- 比井崎簡易水道、小坂～阿尾間配水管布設（延長4,050m）完成
- 特殊急傾斜地崩壊対策事業完成（小浦地区、昭和48年着工）
- 4月1日 婦人同和運動実践連絡会発足
- 第二次沿岸漁業構造改善事業指定
- 6月 関西電力(株)は小浦裏磯地区へ原子力発電所の建設の意向を示し、小浦区役会へ検討協力を依頼
- 10月1日 国勢調査実施、人口7,023人、世帯数1,855戸
- 12月 小浦郷土を良くする会が「原子力発電に関する研究推進」につき、町議会へ請願並びに町長に陳情
- 関西電力(株)より小浦地区での原発事前調査申し入れを受ける
- 12月22日 町議会に「原子力発電調査研究特別委員会」設置

昭和51年（1976）

- 2月 比井崎地区原発反対同志会は町長に原発問題白紙還元を求める
- 2月28日 比井崎漁業協同組合臨時総会にて「誘致につながる調査は反対であるが組合員の意見を尊重しながら漁業者としての調査研究を進める」と決める

- 3月 中学校生徒の通学費補助に関する条例改正
- 3月18日 津野清氏、助役に就任
- 3月31日 消防団本部庁舎落成（鉄筋コンクリート造 2階建、延べ234㎡、昭和50年9月着工）
- 比井崎簡易水道事業で、中志賀～小坂間885m、小坂地内209m、比井～小浦間1,308m配水管布設及び中志賀ポンプ所完了
- 比井漁港神田防波堤設置完了
- 阿尾漁港修築事業で北防波堤設置完了
- 西川、清水井橋完成（昭和49年着工）
- 4月1日 交通指導員設置（10名）
- 重度心身障害児者医療費及び福祉手当支給条例施行
- 夏みかん更新対策事業実施（5か年計画）
- 5月28日 日高町体育協会発足
- 7月3日 日高町文化協会発足
- 7月9日 町議会「原発対策研究特別委員会」と改組
- 8月19日 日高中学校が、第1回近畿中学生選抜野球大会で優勝



- 9月24日 定例議会において、町長は「漁業者の同意を取り付け事前調査にふみきりたい」と行政報告
- 12月 内原小学校校舎増築竣工（鉄筋コンクリート造 2階建 575㎡、昭和51年7月着工）

昭和52年（1977）

- 2月1日 高家集会所竣工（鉄筋コンクリート造平屋建 135㎡、昭和51年9月24日着工）
- 志賀小学校が県教育委員会より教育奨励賞受賞（学習指導システム化の研究）
- 3月20日 社会体育振興のための学校施設開放
- 3月31日 日高中学校生徒に交通安全対策としてヘルメット着用を義務づけ、無償供与する
- 萩原柳生線363m、萩原大規模農道880m、配水管布設
- 比井崎簡易水道、小坂配水タンク（450㎡）完了、中志賀～比井路橋間412m配水管布設



阿尾漁港東防波堤設置

- 産湯漁港外防波堤延長及び嵩上工事完了
- 4月1日 森林病虫害等防除事業指定（空中撒布）
- コレラ禍救済資金制度制定
- 5月14日 収入役、崎則男氏退任
- 5月15日 山崎昇氏、収入役に就任
- 7月13日 日高町青少年総合対策本部設置
- 10月7日 萩原浄水場地鎮祭
- 11月18日 和歌山県養鶏試験場が中津村へ移転
- 11月20日 第1回日高町文化祭開催
- 12月 養護学校教育が義務化され、心身に障害をもつ児童生徒の就学について就学指導委員会設置
- 12月10日 日高町誌発刊、上巻1,158頁、下巻1,328頁（昭和45年着手）



- 12月20日 内原小学校屋内体育館竣工（鉄骨鉄筋コンクリート造 630㎡）

昭和53年（1978）

- 1月 柏区民総会にて事前調査承認される
- 2月15日 小浦区民総会にて事前調査承認される
- 3月2日 比井崎漁協原子力発電特別委員会に事前調査説明会実施
- 3月20日 小浦地区公民館竣工（鉄筋コンクリート造 2階建 352㎡、昭和52年11月着工）



- 3月31日 阿尾小、比井小グラウンドに照明施設設置
- 小中地内送水管820m布設
- 県道三尾由良線（比井～小浦間）公共事業により改良
- 4月1日 母子家庭医療費支給条例施行
- 農業就業構造改善事業指定
- 水田利用対策事業による転作種子補助実施
- 5月26日 日高町同和教育基本方針策定
- 5月27日 日高町青少年補導連絡協議会発足
- 5月29日 比井崎漁業協同組合総総会において条件付きで事前調査同意承認される
- 町議会にて、原子力発電に関する事前調査及び補償問題の促進を決議

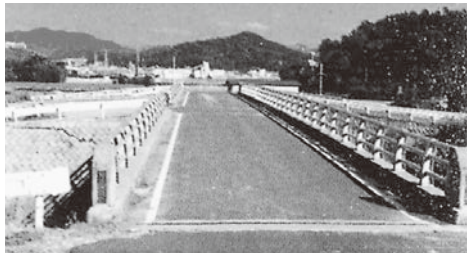
8月28日 志賀小学校校舎及び屋内運動場竣工
(校舎 鉄筋コンクリート造 2 階建 1,692
㎡、屋内運動場 鉄筋コンクリート造 2 階
建 749㎡)



10月1日 町長選挙執行、一松春氏、再選(3 期目)
11月13日 青少年健全育成地区懇談会始まる

昭和 54 年(1979)

2月4日 町議会議員一般選挙執行(定数 20 名)
3月12日 当初議会において「原発事前調査について陸
上部分から実施する」と町長行政報告
3月 関西電力(株)より小浦地区における陸上部分の
事前調査申請書提出される
地方改善事業、西川大橋完成(昭和 53 年
10 月着工)



池田、上志賀農免道路完成(昭和 47 年 12
月着工)
比井漁港(唐子)物揚場完成(延長 26m)
産湯漁港防波堤工事完成(延長 34m)
由良港湾柏地内物揚場改良工事完成(延長
50m)
比井崎簡易水道、比井区内配管及び津久野
区内配管完成
モデル事業で、池田線 850m、上志賀線
1,800m、小池線 1,169m の配水管、萩原
観音寺に 566m 導水管布設、小中配水池
1,000tPC タンク及び浄水場本体工事完成
4月1日 日高町分課設置条例改正により、原発対策
室設置
県道比井紀伊内原停車場線(中志賀地内)
改良工事着工
4月2日 関西電力(株)より提出された事前調査関係申
請書類を返還する
6月29日 町長行政報告で「安全第一に考える政府の安
全見解が発表されれば事前調査を実施した
い」と表明
7月25日 日高町簡易水道事業給水条例及び施行規則
を制定
8月31日 町道観音寺線完成(7 月着工)
比井小学校運動場整地工事完成

9月1日 内原小学校便所棟完成(6 月着工)
9月4日 浄水場完成、通水式
日高地方広域農道整備事業日高町工区完成
開通式
10月3日 日高町基本構想策定

昭和 55 年(1980)

1月1日 比井保育所設置(鉄筋コンクリート造平屋建
504.2㎡、昭和 54 年 5 月着工)



志賀保育所設置(鉄筋コンクリート造平屋建
557.3㎡、昭和 54 年 5 月着工)
1月8日 志賀保育所、比井保育所開園、保育園児は
バスで送迎
1月15日 第 1 回日高町産業祭開催
2月1日 町同和委員会発行「明日への展望」第 1 号
発行
2月 小浦漁港船揚場完成(延長 12m)
3月31日 モデル事業地区公園造成完成(980㎡)
県道藤井日高線荊木地区完成
町道高血橋、からたけ橋改良工事完成
比井崎簡易水道事業産湯地区内配管及び中志
賀ポンプ所、浄水場内テレメーター工事完成
日高町若もの広場竣工(総面積 13,238㎡、
昭和 54 年 8 月22 日着工)



5月21日 日高町武道館竣工(鉄筋、鉄骨造 714.1㎡、
昭和 54 年 8 月22 日着工)
7月 国道 42 号線歩道設置完成
7月31日 「原子力発電所の安全性について」通産省資
源エネルギー庁長官より通達文受ける
10月1日 国勢調査実施、人口 6,973 人、世帯数 1,873 戸
10月3日 町議会において、「原子力発電事前調査促進
に関する決議」可決、町長は凍結を解除する
10月15日 御坊周辺広域市町村圏組合で、清掃センタ
ー完成のため町営小池ゴミ処理場閉鎖
11月 各海岸区へ原発事前調査概要説明及び協力
要請
12月 小浦地区臨時総会にて陸上一部事前調査に
ついて承認

12月16日 関西電力(株)より、原発事前調査関係申請書
提出される

昭和 56 年(1981)

1月26日 和歌山県自然環境保全審議会において「調
査許可は妥当」と決める
2月9日 原発事前調査(一部陸上調査)開始
2月28日 萩原集会所竣工(鉄筋コンクリート造 2 階建
198.9㎡、昭和 55 年 8 月着工)
3月10日 地方改善事業で杉丸橋完成(延長 25m 幅
員 5m、昭和 54 年 11月24 日着工)



3月31日 日高簡易水道事業で、小池、下志賀、高家、
萩原の各地区内配管完成
荊木国道配水管布設、原谷第 1・第 2 加圧
ポンプ所配水池完成
比井崎簡易水道事業で、小坂地区内配管完
成、方杭地区 1,065m 配水管布設
4月1日 柑きつ産地育成事業実施(5 年計画)
新農業構造改善事業指定
県道比井紀伊内原停車場線歩道設置工事着工
7月 原発事前調査(一部陸上調査)完了
7月14日 冬キャベツ産地指定
7月31日 日高中学校用地造成工事完成
日高町庁舎等構内整備工事完成(車庫、水
防倉庫、倉庫、駐車場等、昭和 55 年 8 月
着工)
日高町農村環境改善センター竣工(鉄筋コン
クリート造 2 階建 1,812㎡、昭和 55 年 8
月着工)
9月1日 日高町農村環境改善センター竣工式
10月1日 御坊市外 7ヶ町村環境衛生施設事務組合及
び青少年補導センターを廃止し、御坊周辺
広域市町村圏組合事務組合に吸収合併
12月10日 地方改善事業で屋外運動場(町民プール)完
成(昭和 56 年 3 月着工)



12月25日 原発対策特別委員会解散

昭和 57 年(1982)

1月1日 青年同和運動実践連絡会発足
1月30日 原子力講座開催
1月31日 日高簡易水道事業で原谷線モデル事業、浄
水場～原谷第 1 ポンプまでの配水管布設
比井崎簡易水道事業で、方杭、小杭、柏線
の配水管布設、地区内配管完成(昭和 55 年
11 月着工)
3月31日 地方改善事業で、谷口橋完成(延長 21.7m
幅員 5m、昭和 56 年 9 月着工)
谷口隣保館(文化会館)竣工(鉄筋コンクリ
ート造 2 階建 251㎡、昭和 56 年 9 月25
日着工)
同和対策特別措置法終了
4月1日 地域改善対策特別措置法施行
地域改善対策 5 年計画策定
小中住民公園開園(5,110㎡)
町内全戸に給水開始
5月1日 日高郡 10ヶ町村及び御坊市老人福祉施設、特
別養護老人ホーム、ときわ寮、川辺園竣工
6月19日 第二次日高町長期総合計画策定
8月5日 テクノポリス開発構想調査策定対象地域指定
8月31日 日高中学校校舎竣工(鉄筋コンクリート造 3
階建 4,075㎡、昭和 56 年 7 月28 日着工)



9月10日 小浦漁港改修工事着工
10月3日 町長選挙執行、一松春氏、再選(4 期目)
11月1日 分課設置条例改正し、管財課を設置
12月15日 第 3 種生活路線(原奥線、上志賀線、小浦
線)廃止
12月28日 日高広域消防事務組合設立

昭和 58 年(1983)

1月19日 西山ピクニック緑地及び遊歩道完成(昭和
50 年 2 月着工)
1月30日 町議会議員一般選挙執行(定数 18 名)
1月31日 日高簡易水道事業で原谷地区水道管布設完成
2月1日 老人保健法が施行され、老人保健特別会計
設置
3月10日 社会教育実態調査実施(1,000 名対象)
3月31日 特殊急傾斜地崩壊対策事業(比井地区)完成
中志賀、久志線、大江橋完成(延長 8.5m)
4月1日 谷口住民公園開園(6,724.7㎡)
日高町特定疾患医療受給者福祉手当支給開始
人権モデル町として法務省より指定(指定期
間 1 年)

5月1日 日高町戦没者記録集「郷土の礎」発刊
7月22日 第1回老人ゲートボール大会開催
8月20日 志賀小学校運動場整地工事完成
10月1日 日高広域消防事務組合業務開始



10月2日 教育長、森澤円一氏退任
11月12日 原子力問題講演会(婦人を対象)開催
原子力問題地区懇談会(各地区にて開催)
12月10日 町道路台帳完成(昭和57年9月10日着手)
12月23日 楠忠氏、教育長に就任

昭和59年(1984)

2月7日 助役、津野清氏逝去される
3月12日 農林業地域改善対策事業、奥ノ谷池改修工事完成
3月14日 御坊発電所公害防止協定書及び覚書締結(立合町となる)
3月15日 内原保育所改築事業完成(鉄筋コンクリート造2階建 1,338.5㎡、昭和58年7月1日着工)



3月20日 田杭集会所完成(鉄筋コンクリート造2階建 129.4㎡)
4月1日 比井小学校複式学級となる(5学級)
6月26日 日高原発事前調査推進を決議
7月2日 日高町職員定年制条例を制定(施行 昭和60年3月31日)
8月2日 日高簡易水道事業(高家、小中地区)配水管布設替工事着工
10月1日 日高町制施行30周年
10月6日 崎山俊明氏、助役に就任
指定金融機関設置を決議
10月26日 日高町農業者年金協会発足
10月28日 町制施行30周年記念第10回町民運動会開催
11月17日 町制施行30周年記念第8回文化祭開催

11月27日 町制施行30周年記念式典開催、町の木あこ
う、町の花萩制定



昭和60年(1985)

3月14日 紀伊内原駅無人化にともなう業務委託開始
8月 内原小学校運動場整地
10月1日 国勢調査実施、人口6,975人、世帯数1,969戸
11月20日 役場機構改革、企画室、原発対策室を廃止、地域振興対策課設置

昭和61年(1986)

3月31日 小池集会所竣工
6月 第1回文化講演会開催
8月22日 日高中学校軟式野球部、近畿大会で優勝、全国大会で準優勝を飾る
10月5日 町長選挙執行、一松春氏5選なる
11月23日 第1回ゲートゴルフ大会開催

昭和62年(1987)

2月1日 町議会議員一般選挙執行、当選16名
3月31日 久志集会所竣工
4月 日高町高齢者学級発足
6月 若もの広場に夜間照明施設を設置
7月1日 鳥居忠氏、収入役に就任
JR天王寺駅に紀州日高町の観光PR板を設置
8月 和歌山県大型観光キャンペーンで、「くえ」・「黒竹」をPR
9月 旧日高中学校の円形校舎解体に伴い、コンクリート魂を中磯灯台沖500mに魚礁として投入
10月1日 日高農業共済組合が発足(11ヶ市町村が広域合併)
11月 増養殖場造成改良工事完成(産湯・阿尾・田杭沖)
12月15日 日高中学校技術教室棟竣工

昭和63年(1988)

2月7日 第1回チャリティーバザー開催
4月1日 町内初のスーパーAコープ日高店開業
9月 地域振興ビジョン「明日への架け橋」作成
11月13日 熊野古道IN日高ふれ愛ハイク開催

平成元年(1月7日まで昭和64年)(1989)

1月7日 昭和天皇崩御される

2月25日 日高中学校屋内運動場竣工



3月6日 中志賀構造改善センター竣工
4月1日 住民票の発行を電算機により開始
9月3日 1日あたり305mmの雨量を観測、各地で災害が発生
9月5日 1時間あたり60mmの雨量を観測、各地で災害が発生
10月22日 第1回全国「日高」サミット開催(埼玉県)
11月21日 クエ供養碑建立

平成2年(1990)

2月14日 日高中学校屋外運動場竣工
3月10日 小坂配水池増設工事完成
4月1日 萩原住民公園開園
6月30日 崎山俊明氏、助役を退任
7月9日 第2、第4土曜日を閉庁に
8月18日 第1回「いきいき日高」夏祭りを実施



比井小学校運動場整地工事完了
9月30日 町長選挙執行、志賀政憲氏第4代目町長に
10月1日 国勢調査実施、人口6,862人、世帯数2,040戸
10月29日 一松春氏、町長退任(昭和45年10月より20年間、町政を担当)
12月9日 第1回「ふれあいの日」開催

平成3年(1991)

2月3日 町議会議員一般選挙執行、当選16名
2月26日 産湯集会所竣工
3月29日 日高町社会福祉センター竣工



4月1日 役場機構改革、地域振興対策課を廃止、企画財政課、保健衛生課を設置
紀伊内原駅前に日高町営駐車場設置
6月30日 鳥居忠氏、収入役退任
7月1日 収入役に三岩禎次氏就任
7月24日 役場庁舎増築改修工事竣工(各課に直通電話を設置)
9月18日 生活排水処理基本計画策定
12月21日 楠忠氏、教育長退任
12月22日 教育長に谷口恒一氏就任

平成4年(1992)

1月11日 第1回「いきいき日高」ドライブシアター実施
3月12日 第三次日高町長期総合計画策定
3月31日 日高町商工会館竣工
5月20日 ゴルフ場計画断念
7月10日 日高町人づくりまちづくり推進会設立
10月2日 第4回全国ひだかサミット、日高町で開催「日高いのち唄」制作



11月 第1回老人福祉遠足実施(煙樹ヶ浜)
12月25日 国土利用計画日高町計画策定

平成5年(1993)

1月4日 小中配水池増設工事完成
2月20日 日高町文化財総集編冊子発行
3月31日 防災行政無線竣工



4月1日 役場機構改革により水道課を廃止、上下水道課を設置
地籍調査事業開始(地籍調査推進委員会発足)
公務員の週休二日制実施
4月28日 「紀伊日高地区」国営農地再編パイロット事業地区別調査、日高町推進協議会設立
9月30日 谷口恒一氏、教育長退任
10月1日 教育長に貴虎律夫氏就任
11月30日 比井崎漁協漁村センター竣工

平成 6 年（1994）

- 3月22日 露谷池導水管布設工事完成（水源の確保）
- 3月31日 御坊広域休日急患診療所竣工
御坊クリーンセンター竣工
- 4月1日 比井・阿尾小学校 2 校が統合、比井小学校として発足
阿尾小学校が休校となる
ミニライスセンター竣工
- 5月 全国日高青少年交流会開催（北海道）
- 7月16日 世界リゾート博が和歌山マリーナシティで開催される
- 9月2日 世界リゾート博市町村デーイベントにて日高町をPR



- 10月1日 町制施行 40 周年に日高町民憲章が制定
- 10月2日 第 1 回くえマラソン開催
- 10月9日 町長選挙執行、志賀政憲氏、再選（2 期目）
- 10月12日 小杭地区で温泉開発ボーリング調査に着手
- 11月6日 町制施行 40 周年記念町民運動会開催
- 11月13日 町制施行 40 周年記念文化講演会開催

平成 7 年（1995）

- 1月1日 中善夫氏、助役に就任
- 2月5日 町議会議員一般選挙執行、当選 16 名
- 4月6日 2 歳児保育始める
- 5月 歴史学習ビデオ『徳本上人』制作
- 6月30日 三岩禎次氏、収入役を退任
- 7月1日 楠司氏、収入役に就任
- 10月1日 国勢調査実施、人口 6,926 人、世帯数 2,182 戸
- 10月16日 備蓄倉庫竣工

平成 8 年（1996）

- 2月8日 熊野古道鹿ヶ瀬峠入口に公衆便所を設置
- 2月26日 小杭での掘削が成功し「紀伊日高温泉」として認定される
- 3月29日 比井駐在所竣工
保健福祉総合センター愛称「ふれあいセンター」竣工
- 3月30日 近畿自動車道湯浅御坊道路開通
- 4月1日 教育相談電話開設
非核・平和の町宣言
- 6月1日 指定ゴミ収集袋化実施
- 10月1日 兵庫県日高町と災害時における相互応援協定締結

平成 9 年（1997）

- 2月24日 日高町高齢者学級 10 周年記念誌発行

- 4月1日 ゴミ収集形態変更（5 種分別収集形態へ）
育苗センター竣工
- 7月 避難所「きしゅう君の家」設置
- 8月1日 全国日高青少年交流会、日高町で実施
- 8月20日 高家集会所竣工
- 9月 熊野古道石畳道修復整備工事完了



- 10月1日 由良町・日高町・美浜町の農協が合併し、グリーン日高農業協同組合となる
- 11月15日 第 1 回ふれあい祭開催

平成 10 年（1998）

- 2月2日 郵便番号が変更（5 桁から 7 桁に）
- 3月31日 地域防災計画策定
農村基盤総合整備事業（高家地内）完了
- 5月28日 御坊広域清掃センター新施設稼働
- 6月1日 選挙の投票時間が 2 時間延長され、午後 8 時までになる
- 8月31日 内原・志賀・比井小学校の耐震補強工事完成
- 10月11日 町長選挙執行、志賀政憲氏三選なる
- 11月15日 第 1 回日高町文化賞表彰
- 12月25日 全国日高災害時相互応援協定締結

平成 11 年（1999）

- 2月7日 町議会議員一般選挙執行、当選 14 名
- 3月7日 第 1 回日高町スポーツ賞表彰
- 3月29日 地域振興券交付
- 4月1日 印鑑登録証カード化スタート
行政改革大綱策定
- 4月28日 南紀熊野体験博開幕



- 7月26日 中学校教育における外国語指導助手（ALT）の導入
- 10月25日 戸籍事務コンピューター化
日高町森林組合解散

平成 12 年（2000）

- 2月25日 阿尾下水処理場竣工
- 3月17日 温泉館「海の里」みちしおの湯竣工

- 3月23日 少子化対策臨時特例交付金による志賀・比井保育所の保育室等改修工事完成
- 3月31日 県道井関御坊線新鹿ヶ瀬トンネル竣工
阿尾公衆便所竣工
- 4月1日 役場機構改革、同和室を廃止、温泉館を設置
介護保険制度スタート
- 5月1日 農村環境改善センター北側に駐車場用地造成
- 8月1日 ライスセンター竣工
- 10月1日 国勢調査実施、人口 7,148 人、世帯数 2,317 戸

平成 13 年（2001）

- 2月17日 下志賀コミュニティセンター竣工
- 2月26日 比井下水処理場竣工
- 4月1日 家電リサイクル法により、家電 4 品目（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）がリサイクル商品となる
障害者計画策定
- 5月10日 貴虎律夫氏、教育長退任
- 5月11日 教育長に藤井宗二氏就任
- 6月25日 第四次日高町長期総合計画策定
- 9月7日 町道産湯小坂線竣工
- 9月26日 第二次国土利用計画日高町計画策定
- 10月9日 庁舎改築により農村環境改善センターへ仮移転
- 11月26日 弁財天山古墳の発掘調査開始



平成 14 年（2002）

- 1月11日 弁財天山古墳の発掘調査終了
- 2月17日 第 1 回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催
- 2月28日 日高町斎場竣工



- 3月20日 小浦下水処理場竣工
- 3月31日 同和委員会・青年同和運動実践連絡会・婦人同和運動実践連絡会解散
- 4月1日 完全学校週 5 日制実施
日高町エンゼルプラン策定
- 4月4日 学校土曜日閉校に伴い、中央公民館を開放
- 6月25日 中善夫氏、助役を退任

- 7月31日 全国日高青少年交流会本町で開催
- 9月24日 新庁舎で業務開始
- 10月1日 庁内 LAN 開始
- 10月6日 町長選挙執行、中善夫氏 5 代目町長に
- 10月29日 町長、志賀政憲氏退任（平成 2 年 10 月より 12 年間町政を担当）

平成 15 年（2003）

- 1月1日 小宮正昭氏、助役に就任
- 2月2日 町議会議員一般選挙執行、当選 14 名
- 3月31日 阿尾小学校廃校
- 4月1日 産湯公衆便所竣工
日高町ホームページ開設
- 7月15日 美浜町・日高町・由良町任意合併協議会設置
- 8月25日 住民基本台帳ネットワークシステム開始
- 10月1日 日高町情報公開制度開始
- 12月5日 美浜町・日高町・由良町合併協議会設置

平成 16 年（2004）

- 2月29日 比井小学校屋内運動場竣工



- 3月15日 柏コミュニティセンター竣工
- 5月31日 美浜町・日高町・由良町合併協議会解散（廃止）
- 6月24日 日高町・由良町合併協議会を設置
- 10月4日 外部委託方式による、小中学校の学校給食を開始
- 10月13日 特別養護老人ホームひだか博愛園みちしお竣工
- 10月16日 広川南インター供用開始
- 11月21日 町政施行 50 周年記念講演会
町政施行 50 周年記念誌「のびゆく日高町」全戸配布
- 12月22日 小池下水処理場竣工

平成 17 年（2005）

- 1月31日 日高町・由良町合併協議会解散（廃止）
- 2月4日 萩原浄水場増改築工事竣工（膜濾過方式採用：簡易水道から上水道に）
- 3月17日 志賀保育所増改築工事竣工
- 3月22日 海岸筋に津波避難誘導灯及び海抜表示板を設置
- 3月 柏地区に人工海浜・柏ビーチ整備（延長 300m、平成 7 年着工）
- 4月1日 0 歳児保育を開始（志賀保育所）
上水道企業会計へ移行



5月10日 藤井宗二氏、教育長退任
5月11日 教育長に、玉石守氏就任
7月1日 社会福祉法人太陽福祉会、社会就労センタ
ー、パン工房サンフルひだか竣工
10月1日 国勢調査実施、人口7,344人、世帯数2,480戸
11月1日 日高町行財政改革大綱策定

平成 18 年（2006）

3月1日 ケーブルテレビ開局（由良町、日高町、日高
川町）
3月7日 庁舎議場アスベスト対策工事竣工
3月9日 高家駐在所竣工
3月11日 和歌山県多目的グランド竣工
4月1日 役場機構改革 住民課・保健衛生課を廃止
し、住民福祉課・生活環境課を設置
日高町地域包括支援センターを設置
ケーブルテレビ行政チャンネル運用開始
9月26日 町長中善夫氏、無投票で再選（2期目）
10月30日 中央公民館耐震補強、アスベスト対策工事、
エレベータ設置等、改修工事竣工
12月12日 故クヌッセン機関長の遺徳を長年に渡り顕彰
してるとして、外務省より、田杭区に感謝状
が贈られる

平成 19 年（2007）

1月1日 助役に、小宮正昭氏再任（2期目）
1月30日 日高町議会議員一般選挙、無投票 当選11名
3月26日 産湯川水門改修および遠隔操作設備設置工
事竣工



4月1日 役場機構改革 総務課・企画財政課を総務
政策課に統合
生活環境課を住民福祉課に統合
産業課・建設課・管財課を産業建設課に統合
教育総務課・社会教育課・公民館を教育課
に統合
地方自治法の改正、「助役」を「副町長」に
変更
子どもの医療費助成制度の対象を、小学3
年生まで拡大
4月6日 クヌッセン機関長遺徳顕彰促進協議会発足
5月23日 田杭区に県知事表彰が贈られる（故クヌッ
セン機関長の遺徳の顕彰）
6月30日 楠司氏、収入役を退任
7月1日 地方自治法の改正、会計管理者を設置
8月17日 デンマークへ訪問団を派遣（故ヨハネス・ク
ヌッセン機関長の没後50周年記念）

8月31日 農村環境改善センターの耐震改修工事竣工
9月1日 日高町学童保育「日高町子どもクラブ」を開設
9月20日 役場庁舎耐震改修工事竣工
12月5日 南出川水門設置工事および遠隔操作設備設
置工事竣工

平成 20 年（2008）

1月8日 日高中学校創立50周年記念式典実施
2月5日 高家下水処理場竣工
2月27日 高家住民公園竣工



3月11日 役場玄関ロビーと中央公民館で、議会の生中
継を開始
3月28日 議会の一般質問をケーブルテレビで初放送
3月31日 比井川水門改修および遠隔操作設備設置工
事竣工
4月1日 後期高齢者医療制度開始
5月2日 小中学校および、公共施設へAED15台を設置
5月17日 公用車に青色回転灯を装備
5月19日 3保育所、中央公民館、教育委員会に緊急
地震速報端末を設置
5月 「広報ひだか」の発行を年3回から隔月発行に
7月1日 日高町ホームページ全面リニューアル
9月12日 3小学校、中学校、役場庁舎、温泉館、保
健福祉総合センターに、緊急地震速報端末
を設置

平成 21 年（2009）

3月31日 日高町地域防災計画改定
4月1日 GIS（地理情報システム）運用開始
4月20日 比井保育所園児・小学校児童ら送迎用に、
環境にやさしいスクールバスを導入
7月13日 クエのテーマソング「クエクエ boogie -
woogie」「九絵のバラード」発表
9月27日 萩原集会所耐震工事竣工

平成 22 年（2010）

1月29日 日高町が全国町村会で「優良町村」として表
彰される
3月31日 内原、志賀、比井保育所に太陽光パネル設置
浄化槽市町村整備推進事業及び、農業集落
排水事業が完了
孤立集落対策防災行政無線機を、町内10
か所に設置
4月1日 子どもの医療費助成制度の対象を、中学3
年生まで拡大

5月 「広報ひだか」を毎月発行に
10月1日 国勢調査実施、人口7,432人、世帯数2,648戸
10月3日 町長中善夫氏、無投票で再選（3期目）
12月 谷口交差点改良と信号機設置、谷口橋竣工

平成 23 年（2011）

1月1日 副町長、小宮正昭氏再任（2期目）
1月20日 防災行政無線操作卓をデジアナ併用に更新
1月30日 日高町議会議員一般選挙執行、当選11名
3月4日 町内全域地籍調査が完了（平成5年より実施）
3月11日 東北地方太平洋沖地震発生、日高町震度1、
津波高1m
3月24日 特別養護老人ホームひだか博愛園みちしお増
床工事竣工
3月25日 全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入
4月1日 役場機構改革、住民福祉課から分課して、
健康推進課を設置
60歳以上の方の優待割引を開始（温泉館「海
の里」みちしおの湯）
御坊市外三ヶ町国民健康保険事務組合解散
により国民健康保険業務開始
高齢者外出支援試行事業開始
4月28日 農林水産省より、バイオマスタウンとして公表
5月 東北地方太平洋沖地震により被災した岩手県
へ、役場職員7名を派遣
9月21日 第三次日高町国土利用計画策定
9月 台風12号により、日高川町を始め県南部に
甚大な被害が発生し、復旧支援として、職員
23名を日高川町に派遣
12月21日 第五次日高町長期総合計画策定
12月31日 玉石守氏、教育長辞任

平成 24 年（2012）

1月1日 教育長に、玉井幸吉氏就任
2月14日 故クヌッセン機関長の救命艇保管庫竣工



2月29日 小浦川水門設置および遠隔操作設備設置工
事竣工
3月5日 内原保育所駐車場完成
4月1日 阿尾地区において、急傾斜地崩壊対策事業
および避難広場整備事業に着手
7月21日 県道比井紀伊内原停車場線竣工（比井地区）
11月14日 内陸の小中学校に防災頭巾、比井小学校に
ライフジャケットを配布
12月20日 比井保育所にライフジャケットを配布

平成 25 年（2013）

2月8日 災害時要援護者支援事業により、町内10地
区にリヤカー配備
2月22日 日高中学校に空調整備設置
3月26日 災害対策本部の代替施設である日高中学校
に、防災相互通信用無線機を設置
3月31日 内原王子公衆便所竣工
小杭・方杭・田杭地区に衛星携帯電話を配備
4月1日 各種税金と上下水道料金のコンビニ収納開始
高齢者外出支援事業（試行事業を経て正式
に事業化）
漁村再生交付金事業による、比井地区の大
規模避難路整備に着手
4月30日 紀の国わかやま国体日高町実行委員会設立
5月11日 教育長に、玉井幸吉氏再任（2期目）
6月18日 防災行政無線のデジタル化工事に着手
7月1日 日高町子育て支援センター開設（保健福祉総
合センター内）
10月31日 内原、志賀、比井各小学校に空調設備設置

平成 26 年（2014）

1月31日 比井崎地区地域交流拠点施設竣工



3月6日 小浦公民館耐震補強および外壁改修工事竣
工（公共施設の耐震改修事業完了）
3月27日 町長、中善夫氏逝去される（平成14年10
月より11年6か月間町政を担当）
3月28日 南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域
に指定される
3月31日 日高町立内原小学校校舎改修工事竣工（便
所棟を2階建に改修、校舎の補修工事等）
日高町地域防災計画改定
津波ハザードマップを更新（南海トラフ巨大
地震を想定）
志賀地区土砂災害ハザードマップを作成
総合防災マップを更新
5月6日 日高町議会議員補欠選挙、無投票 当選2名
5月11日 日高町長選挙執行、松本秀司氏6代目町長に
7月19日 紀の国わかやま国体リハーサル大会（ホッ
ケー競技）開催（5日間）
7月28日 日高町シルバー人材センター設立
10月1日 町制施行60周年
町制施行60周年記念誌「のびゆく日高町」
全戸配布
11月23日 町制施行60周年記念講演会
12月31日 副町長、小宮正昭氏退任

●平成 27 年（2015）

- 1月1日 尾崎稔氏、副町長に就任
- 2月8日 日高町議会議員一般選挙執行、当選 11 名
- 3月 日高町地域福祉計画策定
日高町子ども・子育て支援事業計画策定
- 4月1日 子ども医療費助成制度の対象を、高校 3 年生まで拡大
- 10月1日 紀の国わかやま国体（ホッケー競技（少年男女））開催（5 日間）
第 2 日高町子どもクラブを志賀小学校敷地内に開設
- 10月15日 国勢調査実施、人口 7,641 人、世帯数 2,782 戸
日高中学校、屋内運動場天井の耐震および照明器具（LED 化）改修工事完了
- 10月 マイナンバー制度開始
- 11月1日 戸籍管理システム 3 町共同利用開始

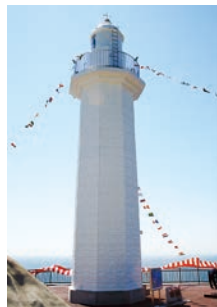
●平成 28 年（2016）

- 3月25日 防災行政無線のデジタル化完了（平成 25 年度～平成 27 年度事業）
- 3月 日高町人口ビジョンおよび日高町総合戦略策定
- 4月1日 第 3 子以降の保育料無償化
- 6月19日 公職選挙法の改正により選挙権年齢 18 歳に引き下げ
- 6月 熊本地震により被災した熊本県益城町へ役場職員 1 名を派遣
- 8月22日 志賀小学校、屋内運動場照明器具（LED 化）改修工事完了
- 9月9日 内原小学校、通級指導教室増築工事竣工
- 10月28日 急傾斜地崩壊対策事業および避難広場整備事業竣工（阿尾地内）



●平成 29 年（2017）

- 3月 公共施設等総合管理計画策定
- 4月1日 第 1 日高町子どもクラブを内原小学校北側に移設
- 4月23日 紀伊日ノ御埼灯台移設工事完成記念式典
- 7月2日 デンマークへ訪問団を派遣（故ヨハネス・クヌッセン機関長の没後 60 周年記念、デンマーク王国フレデリクスハウン市と友好交流覚書締結）



- 9月18日 役場北側駐車場にバス車庫増設
- 9月20日 志賀保育所南側駐車場整備工事竣工
- 11月3日 台風 21 号により被災した新宮市へ役場職員 3 名を派遣

●平成 30 年（2018）

- 1月28日 ニッポン全国鍋グランプリ 2018 金の鍋賞受賞（日高町の天然クエ鍋）
- 2月20日 土砂災害ハザードマップ作成（原谷、池田、高家、阿尾、田杭）
- 2月28日 農村環境改善センター北側駐車場に水防倉庫竣工
- 3月30日 日高中学校校舎大規模改修工事完了
役場北側駐車場増設工事竣工
- 4月17日 町長松本秀司氏、無投票で再選（2 期目）
- 6月30日 副町長、尾崎稔氏退任
- 7月1日 ファミリーサポートセンター事業開始
- 10月1日 田中達也氏、副町長に就任
- 10月31日 内原小学校、屋内運動場天井の耐震および照明器具（LED 化）改修工事完了

●令和元年（4月30日まで平成 31 年）（2019）

- 2月3日 日高町議会議員一般選挙執行、当選 11 名
- 2月15日 土砂災害ハザードマップ作成（小中、小池、方杭）
- 2月28日 志賀保育所増改築工事竣工



- 7月16日 第 3 日高町子どもクラブを日高町保健福祉総合センター（ふれあいセンター）内に開設
- 9月22日 第 7 回コロッケフェスティバル 龍ヶ崎市長賞受賞（さばコロッケ）
- 10月1日 日高町子育て世代包括支援センター開設（健康推進課内）
3 歳児以上 保育料無償化

●令和 2 年（2020）

- 1月31日 阿尾地区消防車庫新設工事竣工
- 2月21日 土砂災害ハザードマップ作成（比井・小坂・小浦・津久野）
- 3月31日 農村環境改善センター改修工事完了（空調・天井・照明 LED 化・フロア床）
比井保育所休園
- 3月 第 2 期地域福祉計画策定
日高町第二期子ども・子育て支援事業計画策定

第 2 期まち・ひと・しごと創生日高町総合戦略策定

- 4月1日 日高町立保育所で指定管理制度を導入
- 4月16日 新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言発令
- 5月10日 教育長、玉井幸吉氏退任
- 5月11日 森順氏、教育長に就任
- 6月1日 温泉館「海の里」みちしおの湯 開館 20 周年
- 10月1日 国勢調査実施、人口 7,673 人、世帯数 2,896 戸

●令和 3 年（2021）

- 3月11日 志賀保育所北側駐車場整備工事竣工
- 3月26日 土砂災害ハザードマップ作成（荻木・萩原・産湯）
西川洪水ハザードマップ、風水害ハザードマップ作成
- 3月31日 志賀小学校との統合により、比井小学校閉校
志賀小学校校舎増改築および東側駐車場整備工事竣工
児童・生徒 1 人 1 台タブレット端末の整備
- 3月 第 6 次日高町長期総合計画策定
日高町男女共同参画計画策定
公共施設個別施設計画策定
- 4月1日 役場機構改革、総務政策課・住民福祉課・健康推進課を廃止し、総務課・企画まちづくり課・住民生活課・子育て福祉健康課・いきいき長寿課を設置
旧比井小学校屋内運動場を比井崎体育館として設置
- 5月6日 新型コロナワクチン集団接種開始
- 10月 和歌山市断水に物資提供（水袋・飲料水）
- 11月20日 紀の国わかやま文化祭 2021 開催（2 日間）



●令和 4 年（2022）

- 1月5日 日高中テニスコート、人工芝化（2 面）工事完了
- 3月31日 比井保育所廃園
比井漁港集落道および避難路整備工事竣工
- 4月1日 民法改正により成年年齢 18 歳に引き下げ
旧比井保育所を比井崎集会所として設置
子ども家庭総合支援拠点開設（子育て福祉健康課内）



- 4月19日 町長松本秀司氏、無投票で再選（3 期目）
- 4月24日 日高町議会議員補欠選挙執行、当選 1 名
- 6月28日 旧比井小学校屋上に、町内初のヘリサイン設置
- 10月1日 副町長、田中達也氏再任（2 期目）
- 10月15日 うぶひだか〜なみうちマルシェ〜初開催



●令和 5 年（2023）

- 1月31日 日高町議会議員一般選挙、無投票 当選 11 名
- 2月10日 日高中学校「早寝・早起き・朝ご飯事業」文部科学大臣表彰受賞
- 2月28日 日高中学校テニスコート屋外照明設置
- 4月1日 下水道事業が公営企業会計へ移行
高齢者外出支援助成券、対象者拡大（65 歳以上 74 歳以下の運転免許証を保有しない方）
がん検診の受診料無償化
- 5月8日 新型コロナウイルス感染症、5 類感染症に移行
- 5月11日 教育長、森順氏再任（2 期目）
- 6月2日 線状降水帯（台風第 2 号）による豪雨災害発生
- 7月25日 県道 24 号線、海岸エリア道路の愛称が「ゆうひみロード」に決定する

●令和 6 年（2024）

- 2・3月 能登半島地震により被災した石川県能登町へ役場職員（2 月 3 名・3 月 1 名）を派遣
- 3月 健康日高 21（第 3 次）策定
- 6月13日 比井崎住民公園供用開始（旧比井小学校グラウンド跡地）



地勢と自然

●地勢

日高町は、紀伊半島西部海岸沿いのほぼ中間点に位置し、北部は由良町に、東部は広川町及び日高川町に接し、南部は御坊市、美浜町及び日高平野に、西部は紀伊水道に面している総面積46.21㎢の町である。

気候は温暖で、耕地は肥沃にして、平野部は良質の米や野菜、山間部は果樹の生産地として気象条件及び地質とも恵まれている。

海岸線は浜部と岩礁部からなるリアス式海岸で、風光明媚な海岸線を形成し、良好な漁港が立地している。

さらに、歴史的資産である熊野古道をはじめ、全国的にも希少な黒竹の栽培が見られ、豊かな自然環境とともに、特色ある地域資源にも恵まれた日高町は、観光等のレクリエーションの場としても多くの人々に親しまれている。

●沿革

江戸時代には、現在の日高町域に独立した20ヶ村浦があった。明治17年、戸長役場の管轄区域が拡大され、この20ヶ村浦は、比井浦外7ヶ村浦（含三尾浦）、萩原村外6ヶ村（含丸山村）、和田浦外3ヶ村浦（含小池村）の各連合村と志賀村の4行政区に別れた。

明治22年町村制の実施にともない、新たに東内原村、西内原村、志賀村、比井崎村の4ヶ村が発足した。そのとき、三尾浦、丸山村は、他村に移り、小池村は志賀村に含まれることになり、また、これまでの村・浦はそれぞれ「大字」と呼称するようになった。

その後、昭和16年8月、東内原村、西内原村が合併して内原村となり、昭和28年9月1日、町村合併推進法が制定されるや、翌昭和29年10月1日、内原、志賀、比井崎の3村が合併し、「日高町」として発足、現在に至っている。

●役所所在地

和歌山県日高郡日高町大字高家626番地

〔位置〕 東経 135° 08′ 37″

北緯 33° 55′ 20″

●気候

区分（令和5年）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
温度 （℃）	平均	7.2	7.3	12.3	15.5	19.2	22.9	27.5	28.3	26.7	18.7	14.0	9.7	17.4
	最高	19.4	19.5	23.8	25.3	29.6	32.2	35.8	37.2	35.1	29.3	28.5	23.3	37.2
	最低	−2.3	−2.0	1.2	5.5	8.1	12.9	20.5	23.0	21.3	10.0	4.5	0.5	−2.3
雨量 （mm）	総雨量	68.0	19.5	110.5	219.5	281.0	515.0	132.5	303.5	42.0	88.5	113.0	37.0	1,930.0
	一日最大	42.5	10.0	26.5	71.5	84.0	349.0	55.0	96.0	32.5	44.0	57.5	10.0	349.0
風速 （m/s）	平均	3.6	3.6	3.1	3.7	3.4	2.8	2.9	3.0	2.3	2.9	3.1	3.3	3.1
	最大瞬間	29.4	18.6	18.1	21.7	21.3	22.3	15.0	32.8	12.5	18.7	20.9	20.1	32.8

資料：日高広域消防事務組合消防本部

●地域区分

地域区分	地区名
内原地域	原谷、萩原、荊木、池田、高家、小中
志賀地域	柏、上志賀（小杭）、久志、中志賀、下志賀、谷口、小池
比井崎地域	方杭、小浦、津久野、比井、小坂、産湯、阿尾、田杭

●地域区分図



町土

●土地利用状況（各年10月1日現在）

（単位：ha）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1. 農用地	553	548	544	542	537	535	532	524	520	515
農地	553	548	544	542	537	535	532	524	520	515
採草放牧地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2. 森林	3,068	3,068	3,052	3,052	3,050	3,049	3,049	3,049	3,048	3,047
3. 原野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4. 水面・河川・水路	191	191	196	195	213	213	198	198	198	200
5. 道路	167	167	167	167	166	166	168	169	170	171
6. 宅地	177	179	180	181	183	185	186	188	189	191
住宅地	138	139	140	140	141	142	143	143	144	145
工業用地	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
その他の宅地	36	37	37	38	39	40	40	42	42	43
7. その他	486	487	480	482	470	471	486	491	496	497
合 計	4,642	4,640	4,619	4,619	4,619	4,619	4,619	4,619	4,621	4,621

人口

●人口・世帯数推移（各年10月1日現在）

	人口（人）			増減（人）	一般世帯数	1世帯当たり 人員	人口密度 （人／km ² ）	面積（km ² ）
	総数	男	女					
昭和40年	7,566	3,575	3,991	△ 611	1,792	4.22	163.0	46.43
昭和45年	7,119	3,348	3,771	△ 447	1,794	3.97	153.3	46.43
昭和50年	7,023	3,304	3,719	△ 96	1,855	3.79	151.3	46.43
昭和55年	6,973	3,284	3,689	△ 50	1,873	3.72	150.3	46.40
昭和60年	6,975	3,300	3,675	2	1,969	3.54	150.2	46.43
平成2年	6,862	3,243	3,619	△ 113	2,040	3.36	147.9	46.39
平成7年	6,926	3,296	3,630	64	2,182	3.17	149.3	46.40
平成12年	7,148	3,412	3,736	222	2,317	3.09	154.0	46.42
平成17年	7,344	3,468	3,876	196	2,480	2.96	158.2	46.42
平成22年	7,432	3,504	3,923	88	2,648	2.81	160.1	46.42
平成27年	7,641	3,617	4,024	209	2,778	2.75	165.4	46.19
令和2年	7,673	3,657	4,016	32	2,892	2.65	166.1	46.19

注：昭和60年度までの一般世帯数欄は「普通世帯数」

資料：国勢調査

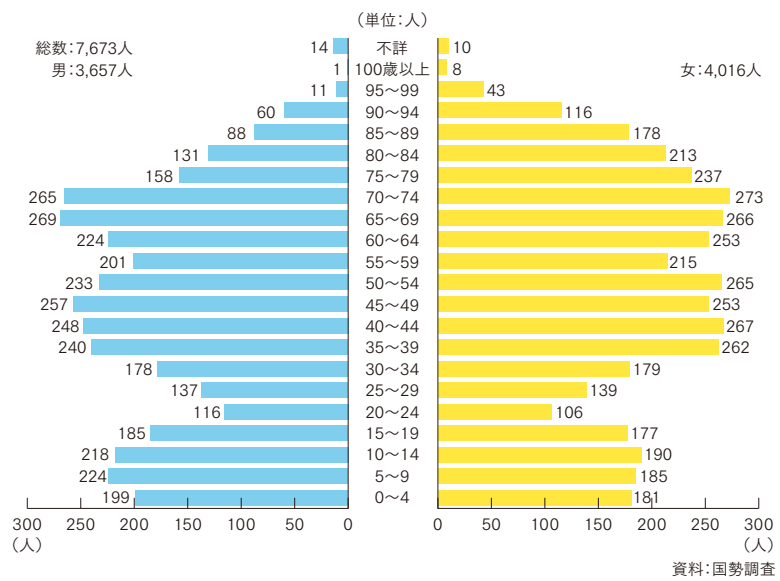
●人口動態

（単位：人）

	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成26年度	65	90	△ 25	329	211	118
平成27年度	60	106	△ 46	264	214	50
平成28年度	75	97	△ 22	280	238	42
平成29年度	73	89	△ 16	239	201	38
平成30年度	78	95	△ 17	264	249	15
令和元年度	55	106	△ 51	236	201	35
令和2年度	64	103	△ 39	253	219	34
令和3年度	68	87	△ 19	233	206	27
令和4年度	59	103	△ 44	275	234	41
令和5年度	56	104	△ 48	305	232	73

資料：住民基本台帳

●5歳階級別人口（令和2年10月1日現在）



産業

●産業別就業者数

（単位：人）

		昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
第一次	農業	1,428	1,287	1,131	985	878	706	604	495	462	399
	林業等	3	9	5	4	10	2	8	6	6	6
	漁業等	277	237	238	260	222	194	152	84	74	60
	小計	1,708	1,533	1,374	1,249	1,110	902	764	585	542	465
第二次	鉱業	2	—	2	1	1	—	—	—	—	—
	建設業	171	221	199	212	272	326	339	261	281	315
	製造業	439	345	321	376	396	397	352	453	483	510
	小計	612	566	522	589	669	723	691	714	764	825
第三次	電気・ガス・水道等	7	12	10	19	27	30	31	28	36	36
	運輸・通信	173	166	150	137	156	152	128	142	137	131
	卸売・小売・飲食店	346	396	412	430	430	521	602	427	419	455
	金融・保険	57	68	71	81	99	85	79	77	63	62
	不動産業	8	4	2	5	7	8	12	14	20	30
	サービス	462	567	658	703	804	897	994	1,219	1,441	1,600
	公務	128	131	140	162	171	209	183	197	224	222
	小計	1,181	1,344	1,443	1,537	1,694	1,902	2,029	2,104	2,340	2,536
合計		3,501	3,443	3,339	3,375	3,473	3,527	3,484	3,403	3,646	3,826

資料：国勢調査

●経営耕地の状況

（単位：ha）

	計	田	畑（樹園地を除く）	樹園地
平成12年	451	391	16	45
平成17年	378	336	11	32
平成22年	363	328	9	26
平成27年	318	295	7	16
令和2年	273	259	7	8

資料：世界農林業センサス等

●専・兼業別農家数

（単位：戸）

	総農家数	販売農家数	専業農家数		兼業農家数					
					計	第1種兼業	第2種兼業	計	第1種兼業	第2種兼業
平成2年	815	652	135	20.7%	517	79.3%	174	26.7%	343	52.6%
平成7年	746	590	128	21.7%	462	78.3%	163	27.6%	299	50.7%
平成12年	712	536	117	21.8%	419	78.2%	98	18.3%	321	59.9%
平成17年	660	472	133	28.2%	339	71.8%	83	17.6%	256	54.2%
平成22年	617	443	165	37.3%	278	62.7%	55	12.4%	223	50.3%
平成27年	553	381	147	38.6%	234	61.4%	30	7.9%	204	53.5%
令和2年	478	304								

資料：世界農林業センサス等

●販売目的の作物の類別作付（栽培）農家数と作付（栽培）面積

（単位：経営体、ha）

	稲		野菜類				花き類・花木			
			露地		施設		露地		施設	
	作付（栽培） 農家数	作付（栽培） 面積	作付（栽培） 農家数	作付（栽培） 面積	作付（栽培） 農家数	作付（栽培） 面積	作付（栽培） 農家数	作付（栽培） 面積	作付（栽培） 農家数	作付（栽培） 面積
平成12年	473	230	221	27			56	8		
平成17年	403	243	153	19	90	11	32	x	10	x
平成22年	404	245	204	26	78	0	41	5	10	0
平成27年	337	197	170	x	61	x	33	5	6	0
令和2年	253	181	138	19	x	x	26	x	6	1

注：0は単位に満たないもの。xは個人又は法人その他団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

資料：世界農林業センサス等

●組織別漁業経営体数

(単位：経営体)

	総数	個人			会社	漁業協同 組 合	漁業生産 組 合	共同経営	官公庁 学校試験場
		専業	兼業						
平成10年	133	126	27	99	3	—	—	4	—
平成15年	107	100	32	68	3	—	—	4	—
平成20年	80	73	27	46	3	—	—	4	—
平成25年	75	71	25	46	2	—	—	2	—
平成30年	58	54	17	37	2	—	—	2	—

資料：漁業センサス

●漁業における年齢別15歳以上の漁業就業者数

(単位：人)

	計	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
平成15年	162	-	9	6	3	7	5	6	24	11	16	25	27	23
平成20年	191	1	4	17	11	9	12	10	12	35	25	17	14	24
平成25年	127	-	-	2	17	4	5	9	8	8	23	13	20	18
平成30年	102	-	-	-	2	14	6	2	7	10	15	28	5	13

資料：漁業センサス

●漁獲量・売上高の推移

(単位：漁獲量 (t)、売上高 (百万円))

		中型巻き網	一本釣り	刺し網	地曳き網	採貝藻	その他	合計
平成28年度	漁獲量	1,723	30	6	3	24	1	1,787
	売上高	333	27	19	4	17	1	401
平成29年度	漁獲量	1,708	31	6	2	19	1	1,767
	売上高	291	16	22	1	19	1	350
平成30年度	漁獲量	1,223	23	6	1	30	2	1,285
	売上高	240	19	15	4	17	2	297
令和元年度	漁獲量	1,266	6	6	0	30	2	1,310
	売上高	231	5	17	0	17	2	272
令和2年度	漁獲量	786	23	9	2	30	1	851
	売上高	139	18	30	30	16	1	234
令和3年度	漁獲量	1,176	33	11	1	58	3	1,282
	売上高	211	10	39	5	25	2	292
令和4年度	漁獲量	1,258	1	7	1	6	22	1,295
	売上高	215	2	35	5	20	11	288

資料：港勢調査

●宿泊・日帰り客数

(単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
宿泊客数	24,459	28,506	9,668	8,356	11,629	9,929
日帰り客数	229,553	203,610	120,686	159,579	186,030	185,193
計	254,012	232,116	130,354	167,935	197,659	195,122

資料：観光客動態調査

●宿泊施設収容力

(単位：軒、人)

令和5年	旅館	民宿	ゲスト ハウス	合計
軒数	1	4	2	7
定員	60	155	29	244

資料：宿泊施設収容力調べ

●日高町文化財一覧

(令和6年3月31日現在)

種 別	大区分	名 称	所在地	備 考
国指定文化財 (重要文化財)	美 術 工 芸	銅経筒	比井	比井若一王子神社
		紙本法華経 8 卷	〃	〃
		陶壺	〃	〃
国登録有形文化財	史 跡	熊野参詣道紀伊路	原谷	県指定から国指定へ
	建 造 物	旧楠本家住宅離座敷	原谷	
県指定文化財	史 跡	鹿ヶ瀬峠	原谷	
		徳本上人誕生遺跡	志賀	誕生院
		高家王子跡	萩原	内原王子神社
		向山古墳	荊木	
		辨財天山古墳	荊木	
		若一王子神社境内	比井	熊野参詣道 紀伊路
		阿尾のクエ祭	阿尾	白髭神社
	無形民俗文化財			
町指定文化財	史 跡	沓掛王子神社跡	原谷	
		馬留王子神社跡	原谷	
		内ノ畑王子神社跡	萩原	
		産湯七ツ井	産湯	
		産湯古墳	産湯	
		徳本上人十念名号塔	志賀	誕生院
		池田城跡	池田	別名：小坊子城嶺城又は種ヶ城
		句碑 崎山豊秋	萩原	
	天 然 記 念 物	玉置邦太郎宅のクスノキ	高家	
		誓願寺のイブキ	小中	誓願寺
		産湯の榕樹	産湯	
		イヌマキの純林	小浦	御霊神社
		ナギの巨樹	産湯	西教寺
	美 術 工 芸	永隆院寄附の戸帳	志賀	浄恩寺
		徳川治宝の真筆「誕生院」の額面下書弔軸	志賀	誕生院
		徳本上人の真蹟名号軸	志賀	〃
		徳本上人六字名号と書添	志賀	〃
		大日如来像	小池	西福寺
		毘沙門天	志賀	浄恩寺
		絵馬 (1 4 点)	比井	比井若一王子神社
		備前助村の太刀	比井	〃
		釈迦如来座像と胎内佛	原谷	光明寺
		准如上人画像	小浦	円行寺
		良如上人画像	小浦	〃
		徳本上人自画像	志賀	誕生院
	有形民俗文化財	西山の地藏尊	小池	西福寺
	古 記 録	産湯村検地帳	産湯	産湯区

健康と福祉

●国民健康保険加入状況

(単位：人、世帯)

	被保険者数	加入世帯数	総人口	総世帯数	加入世帯当たり被保険者数
平成 7 年度末	2,965	1,290	7,280	2,197	2.30
平成12年度末	3,030	1,401	7,543	2,379	2.16
平成17年度末	3,273	1,598	7,718	2,627	2.05
平成22年度末	2,272	1,239	7,815	2,853	1.83
平成27年度末	2,168	1,206	7,918	3,082	1.80
令和2年度末	1,902	1,119	7,889	3,212	1.70

●国民健康保険税と給付状況

(単位：千円)

	保険税（円）		療養の給付									
			入院		入院外		歯科		調剤		食事療養費	
	世帯平均	1人当り	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
平成7年度末	143,923	62,618	437	131,010	14,805	181,348	2,749	50,764	80	447	420	17,382
平成12年度末	148,732	68,770	487	187,527	16,143	199,878	2,373	44,141	1,296	13,743	464	20,200
平成17年度末	145,029	70,862	495	209,471	19,500	255,043	3,030	52,726	3,788	56,106	479	19,027
平成22年度末	136,019	74,176	557	259,825	18,490	283,190	2,964	43,438	4,103	5,424	526	17,282
平成27年度末	187,827	104,483	428	220,273	18,993	265,763	3,725	50,240	6,344	114,099	412	11,662
令和2年度末	146,729	86,325	451	236,120	17,000	259,733	3,533	47,618	7,236	104,793	425	10,964

	療養の給付				療養費 (老健対象を除く)		高額療養費		出産育児一時金		葬祭費	
	訪問看護		合計						(助産費)			
	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
平成7年度末	9	594	18,080	381,545	1,239	10,966	313	24,534	11	3,300	48	1,440
平成12年度末			20,299	465,489	1,067	10,347	364	32,180	7	2,100	47	1,410
平成17年度末	12	943	26,825	593,319	1,650	18,207	570	47,943	17	5,100	62	1,860
平成22年度末	12	918	26,126	662,497	1,811	17,670	1,030	61,226	10	4,200	7	210
平成27年度末	64	6,740	29,554	668,777	1,664	15,577	1,102	57,545	6	2,520	8	240
令和2年度末	59	8,309	28,279	667,537	1,541	14,603	1,187	64,786	5	2,100	9	270

●国民年金適用状況

(単位：人)

	第1号 被保険者数	任意加入 被保険者数	第3号 被保険者数	全額免除・ 猶予者数	一部免除者数	付加年金 保険料納付者数
平成22年度末	1,009	6	599	273	19	67
平成27年度末	912	10	571	319	29	49
令和2年度末	790	8	529	318	26	32

資料：厚生労働省

●年金給付状況

(単位：人、千円)

	厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）						国民年金					
	老齢給付		障害給付		遺族給付		老齢給付		障害給付		遺族給付	
	受給権者数	年金総額	受給権者数	年金総額	受給権者数	年金総額	受給権者数	年金総額	受給権者数	年金総額	受給権者数	年金総額
平成22年度末	1,318	803,804	20	14,791	318	234,919	2,058	1,347,372	130	115,369	30	21,905
平成27年度末	1,588	826,407	27	20,695	359	259,496	2,218	1,504,357	140	122,604	29	21,505
令和2年度末	1,685	823,292	30	21,509	368	263,941	2,290	1,613,710	161	139,183	13	10,531

資料：厚生労働省

●保育園児数

(令和6年4月30日現在)

(単位：人)

内原保育所					志賀保育所								合計							
2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
17	23	22	25	87	4	21	31	38	35	35	164	4	21	48	61	57	60	251		

●各種健診（検診）実施状況の推移

(単位：人)

	乳児検診	1歳6か月児 検診	3歳児検診	結核検診	胃検診	子宮がん 検診	乳がん検診	大腸がん 検診	合計
平成7年度	127	68	74	1,635	544	264	304	515	3,531
平成12年度	155	72	66	1,340	371	209	246	330	2,789
平成17年度	142	80	64	1,092	410	312	306	432	2,838
平成22年度	137	59	69	727	445	409	332	437	2,615
平成27年度	134	78	81	444	357	393	424	500	2,411
令和2年度	134	67	86	383	97	411	403	497	2,078

注：結核検診は、平成27年度から65歳以上。胃検診は、令和元年度から隔年実施開始

生活環境・交通・消防

●ごみ処理状況

(単位：t)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
可燃物ゴミ	1,518.79	1,514.39	1,550.43
不燃物ゴミ	93.65	90.99	97.41
大型可燃ゴミ	199.63	222.72	245.44
大型不燃ゴミ	72.96	59.71	45.63
資源ゴミ	82.25	79.44	75.72
小型プラスチック	47.67	50.37	49.96
計	2,014.95	2,017.62	2,064.59

資料：御坊広域行政事務組合

●し尿受付量

(単位：kℓ)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生し尿	279.32	303.71	227.08
簡易水洗	175.45	154.39	184.44
単独浄化槽 汚泥	67.60	65.27	69.76
合併浄化槽 汚泥	2,202.40	2,391.81	2,435.78
農漁業 集落排水	1,023.63	1,532.57	1,289.07
計	3,748.40	4,447.75	4,206.13

資料：御坊広域行政事務組合

●水道事業業務量

	給水人口（人）	給水戸数（戸）	年間総給水量（㎡）	1日平均給水量（㎡）	1人当たり平均給水量（ℓ）
令和元年度	7,903	3,499	794,911	2,178	276
令和2年度	7,877	3,548	808,035	2,214	281
令和3年度	7,916	3,615	819,450	2,245	284
令和4年度	7,940	3,662	812,203	2,225	280
令和5年度	7,947	3,707	809,905	2,219	279

●下水道事業業務量

	加入戸数（戸）	水洗化戸数（戸）	年間処理水量（㎡）	1日平均処理水量（㎡）	1戸当たり平均処理水量（ℓ）
令和元年度	2,583	2,199	542,726	1,487	576
令和2年度	2,605	2,232	548,880	1,504	577
令和3年度	2,629	2,255	552,171	1,513	576
令和4年度	2,654	2,278	553,232	1,516	571
令和5年度	2,669	2,305	559,317	1,532	574

●道路整備の状況

(令和5年4月1日現在)

	実延長 (m)	2車線以上		
		改良済（m）	未改良（m）	整備率（％）
国道	4,436	4,436	0	100.0
県道	37,678	20,835	16,843	55.3

	実延長 (m)	舗装延長		改良延長	
		(m)	舗装率（％）	(m)	舗装率（％）
町道	160,347	152,150	94.9	66,693	41.6

●年度別交通事故発生件数

(単位：件、人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	13	10	10	4	6	2	1
死者	1	1	0	0	0	0	0
傷者	15	12	14	5	6	4	1

資料：交通年鑑

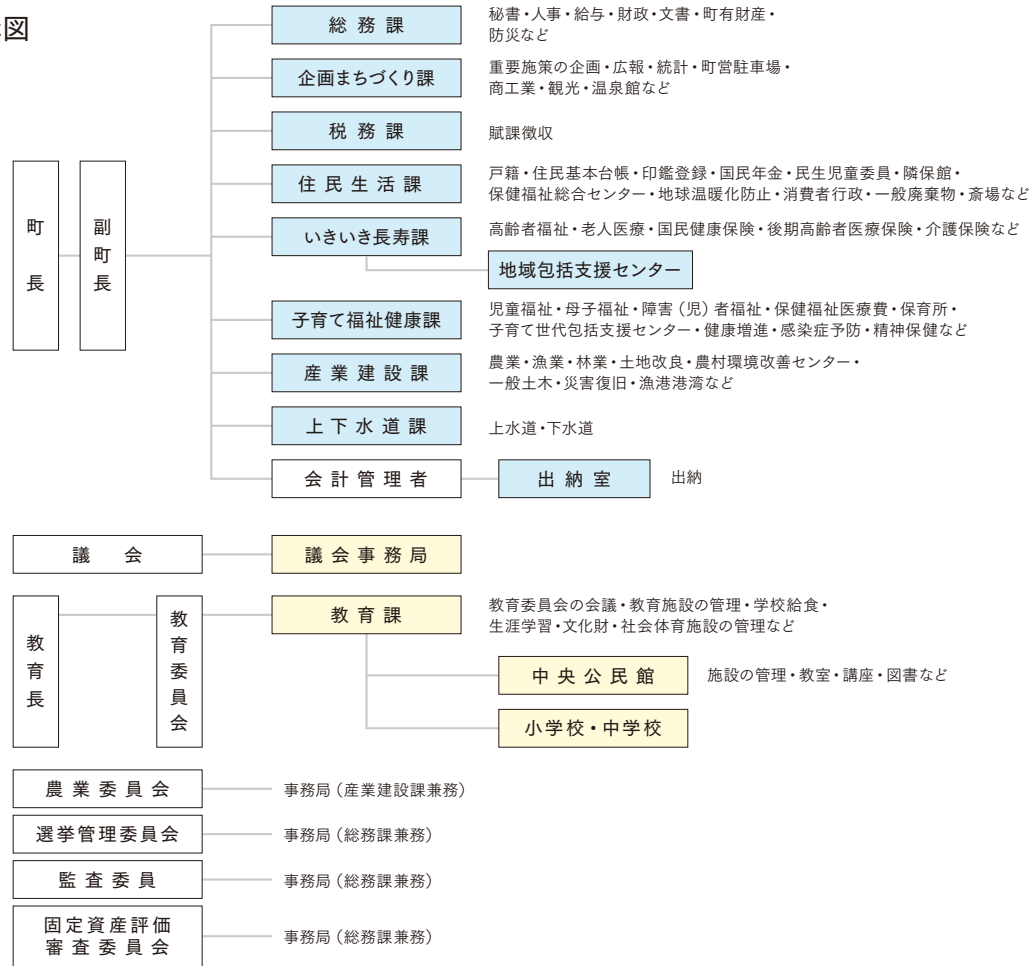
●消防

(令和5年度)

分団数	団員数	消防ポンプ自動車	可搬式動力ポンプ	可搬式動力ポンプ積載車	防火水槽	公設消火栓	出火件数
3	88	4	12	9	34	361	3

行政・議会

●行政機構図



●歴代町長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	白井 勇	昭和29年10月30日	昭和33年10月29日
2	井上 長次郎	昭和33年10月30日	昭和45年10月29日
3	一松 春	昭和45年10月30日	平成2年10月29日
4	志賀 政憲	平成2年10月30日	平成14年10月29日
5	中 善夫	平成14年10月30日	平成26年3月27日
6	松本 秀司	平成26年5月11日	至現在

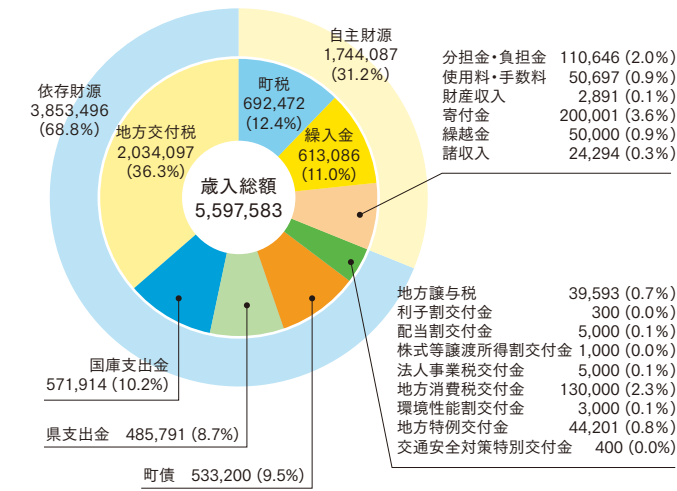
●歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	野田 武夫	昭和29年10月5日	昭和30年1月11日
2	井上長次郎	昭和30年2月22日	昭和33年9月10日
3	平瓦平太郎	昭和33年9月10日	昭和34年2月12日
4	平瓦平太郎	昭和34年2月16日	昭和35年9月20日
5	金崎 達雄	昭和35年9月20日	昭和38年2月12日
6	金崎 達雄	昭和38年2月18日	昭和40年2月3日
7	金崎 達雄	昭和40年2月3日	昭和42年2月12日
8	金崎 達雄	昭和42年2月21日	昭和44年1月31日
9	金崎 達雄	昭和44年1月31日	昭和46年2月12日
10	平見 良夫	昭和46年2月22日	昭和48年2月22日
11	平見 良夫	昭和48年2月22日	昭和50年2月12日
12	白井 武雄	昭和50年2月19日	昭和52年2月16日

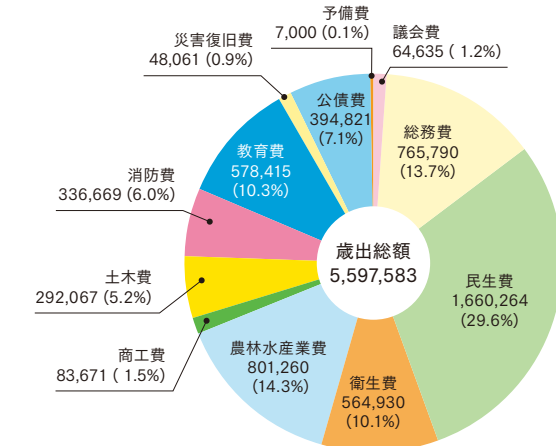
13	白井 武雄	昭和52年2月16日	昭和54年2月12日
14	湯原 勇	昭和54年2月19日	昭和55年3月28日
15	野尻 次	昭和55年7月1日	昭和58年2月12日
16	野尻 次	昭和58年2月17日	昭和60年2月12日
17	長尾 正	昭和60年2月12日	昭和62年2月12日
18	市ノ瀬 亘	昭和62年2月13日	平成元年6月22日
19	酒井 敏夫	平成元年6月22日	平成3年2月12日
20	遠藤 実	平成3年2月13日	平成5年2月2日
21	遠藤 実	平成5年2月2日	平成6年9月19日
22	石田 耕	平成6年9月20日	平成7年2月12日
23	一松 輝夫	平成7年2月13日	平成11年2月12日
24	山本 源昭	平成11年2月15日	平成13年2月9日
25	松本 秀司	平成13年2月9日	平成15年2月12日
26	松本 秀司	平成15年2月13日	平成17年2月15日
27	一松 輝夫	平成17年2月15日	平成19年2月12日
28	一松 輝夫	平成19年2月14日	平成21年2月10日
29	一松 輝夫	平成21年2月10日	平成23年2月12日
30	天満 滋明	平成23年2月15日	平成25年2月12日
31	野田 善啓	平成25年2月12日	平成27年2月12日
32	清水 正巳	平成27年2月13日	平成31年2月12日
33	芝 充彦	平成31年2月13日	令和3年2月12日
34	辻村 昌宏	令和3年2月12日	令和5年2月12日
35	稲垣 崇	令和5年2月13日	至現在

財政

●令和6年度一般会計予算の構成図



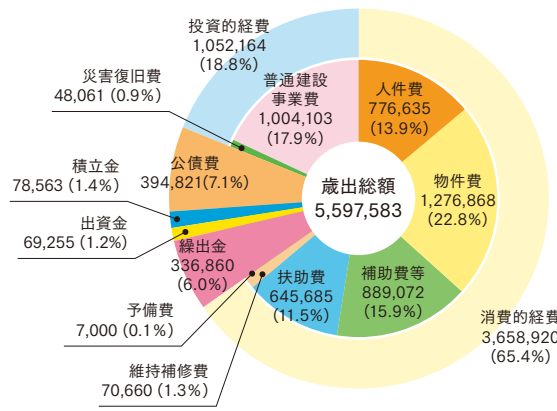
●目的別内訳



●決算状況 歳入・歳出

		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		前年度比(%)		前年度比(%)		前年度比(%)		前年度比(%)		前年度比(%)	
一般会計	歳入総額	4,125,313	△ 10.1	4,495,232	9.0	6,135,094	36.5	5,649,163	△ 7.9	5,235,506	△ 7.3
	歳出総額	3,856,028	△ 11.1	4,065,963	5.4	5,854,941	44.0	5,162,253	△ 11.8	4,882,958	△ 5.4
国民健康保険特別会計	歳入総額	1,020,084	△ 17.4	937,704	△ 8.1	881,414	△ 6.0	991,501	12.5	965,594	△ 2.6
	歳出総額	991,896	△ 7.6	911,350	△ 8.1	851,709	△ 6.5	948,110	11.3	952,363	0.4
土地取得特別会計	歳入総額	36,282	0.0	36,282	0.0	36,282	0.0	36,282	0.0	36,282	0.0
	歳出総額	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
下水道事業特別会計	歳入総額	386,467	4.3	407,576	5.5	467,144	14.6	522,590	11.9	397,831	△ 23.9
	歳出総額	369,533	4.7	385,778	4.4	435,556	12.9	495,628	13.8	396,932	△ 19.9
介護保険特別会計	歳入総額	909,438	0.2	916,720	0.8	944,040	3.0	973,335	3.1	986,226	1.3
	歳出総額	863,929	0.6	871,174	0.8	873,039	0.2	882,110	1.0	876,315	△ 0.7
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	190,864	0.0	196,458	2.9	204,763	4.2	207,757	1.5	205,073	△ 1.3
	歳出総額	188,480	△ 0.5	195,784	3.9	203,090	3.7	206,897	1.9	202,912	△ 1.9
水道事業会計	収入	276,790	△ 11.0	329,094	18.9	387,321	17.7	360,025	△ 7.0	411,270	14.2
	支出	357,033	△ 7.7	430,313	20.5	470,132	9.3	457,659	△ 2.7	456,621	△ 0.2

●性質別内訳



●特別会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	921,878
土地取得特別会計	36,282
介護保険特別会計	847,554
後期高齢者医療特別会計	221,705

●公営企業会計

会計名	予算額	
水道事業会計	収益の収入	226,227
	収益の支出	220,359
	資本の収入	27,834
	資本の支出	145,606
下水道事業会計	収益の収入	429,392
	収益の支出	429,392
	資本の収入	92,374
	資本の支出	176,649



日高町へのアクセス

電車

JR紀勢本線、特急で**JR御坊駅**まで
(JR新大阪駅から約110分、
JR天王寺駅から約90分)
JR御坊駅からは、普通電車で
JR紀伊内原駅下車、もしくは路線バス

自動車

湯浅御坊道路・**広川南IC**もしくは
川辺ICで降りて約15分

